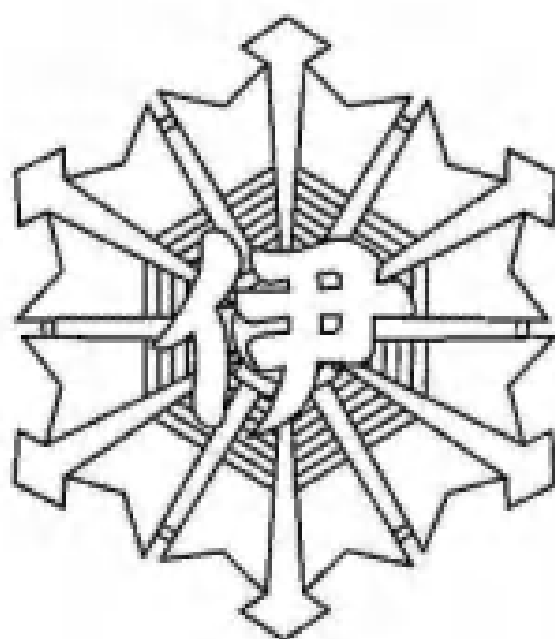


消 防 年 報

平成 23 年版
(平成 24 年 6 月刊行)



伊達地方消防組合消防本部

は し が き

この年報は、伊達地方消防組合の現勢と平成 23 年中における消防諸般の実情を収録したものであります。

この資料を一つの参考として広域消防行政の実態をご理解いただき、より一層のご支援ご協力を賜れば幸いと存じます。

なお、消防統計的なものについては暦年で、その他のものについては会計年度で、また消防状況の逐年傾向を知るため必要なものについては過去にさかのぼり集録したものであります。

平成 24 年 6 月

伊達地方消防組合消防本部

目 次

1	伊達地方消防組合のあゆみ	1
2	伊達地方消防組合市町別・面積・世帯数・人口調	9
3	伊達地方消防組合市町別・面積・人口・世帯数に対する消防力	9
4	伊達地方消防組合管理者等及び組合議員等調	10
5	総 務	
(1)	伊達地方消防組合・消防本部・消防署組織	12
(2)	伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)事務分掌	13
(3)	消防機関所在地	19
(4)	消防庁舎の現状	21
(5)	平成24年度一般会計予算	22
(6)	職員配置状況調	23
(7)	職員階級別勤続年数調	24
(8)	職員階級別年齢調	25
(9)	職員市町村別居住地調	25
(10)	職員研修状況調	26
(11)	職員特殊技能その他資格取得者調	27
6	予 防	
	火 災 統 計	
	平成23年火災概要	29
(1)	火災総括表	30
(2)	火災概況及び比較表	31
(3)	市町別・月別火災発生状況	32
(4)	火災件数と損害額	33
(5)	火災種別発生率	34
(6)	市町別火災発生率	34
(7)	時間別火災発生状況	35
(8)	覚知方法別出火件数	35
(9)	出火率の推移	36
(10)	火災による死傷者の推移	36
(11)	過去5年間に於ける各市町火災発生状況	37
(12)	原因別火災発生状況	38
(13)	気象別出火件数調(湿度)	39
(14)	気象別出火件数調(風速)	39
(15)	曜日別出火件数調	40

(16) 気象別出火件数調(天候).....	40
(17) 全国及び福島県の火災記録(10年間).....	41
危険物統計	
(1) 市町別危険物製造所等.....	43
(2) 倍数別危険物製造所等(完成検査済証交付施設).....	44
(3) 容量別屋外タンク貯蔵所(完成検査済証交付施設).....	44
予防統計	
(1) 市町別・工事種別同意処理状況.....	46
(2) 市町別・月別同意処理状況.....	46
(3) 市町別・用途別建築同意処理状況.....	47
(4) 防火対象物施設数.....	48
(5) 防火対象物の階層別・面積別調.....	49
(6) 甲種防火対象物防火管理者選任届出状況.....	50
(7) 乙種防火対象物防火管理者選任届出状況.....	51
(8) 防火対象物立入検査実施状況.....	52
(9) 消防用設備等の届出、検査済証件数.....	53
(10) 甲種防火管理(新規)講習会実施状況.....	53
(11) 火災予防条例等に基づく届出状況.....	54
7 警 防	
(1) 伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)及び消防機械配置図.....	56
(2) 消防本部(中央消防署)から分署・各町間の距離.....	57
(3) 相互応援協定.....	58
(4) 現勢消防力調.....	59
(5) 消防水利現況調.....	59
(6) 消防車両等の現勢調.....	60
(7) 無線局配置状況調.....	62
(8) 消防機器材の現有状況.....	63
8 救助統計	
(1) 事故種別出場件数活動件数調.....	67
(2) 事故種別車両別救出者搬送人員調.....	67
(3) 事故種別出場人員活動人員調.....	68
(4) 事故種別出場車両及び活動車両等台数調.....	69
(5) 事故種別発生場所別出場件数及び活動件数調.....	70
(6) 事故種別発生場所別救助人員調.....	71
9 救急統計	
平成23年救急活動の概要	73

(1) 市町別・月別救急出場状況.....	74
(2) 市町別・事故種別救急出場状況.....	75
(3) 事故種別救急出場状況(前年比較).....	76
(4) 搬送人員傷病程度別分類状況.....	77
(5) 搬送人員年齢別比率.....	77
(6) 市町別救急出場状況(前年比較).....	78
(7) 急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調.....	79
(8) 医療機関別搬送状況.....	80
(9) 一日の出場件数比率.....	81
(10) 事故種別救急出場件数比率.....	81
(11) 月別出場件数(前年比較).....	82
(12) 事故種別・時間別救急出場状況.....	83
(13) 性別・年齢別搬送人員状況.....	84
(14) 過去5年間の事故種別救急出場状況.....	85
(15) 現場到着所要時間別出場件数調.....	86
(16) 収容時間別搬送人員数調.....	86
(17) 過去10年の救急出場件数.....	87
(18) 各市町別の救急出場率及び搬送割合の推移.....	88
(19) 署・分署別救急出場状況(前年比較).....	89
(20) 救急隊が、人工呼吸・心臓マッサージを実施した傷病者調.....	90

伊達地方消防組合のあゆみ

- 昭和 36.11. 1 保原町に常備消防部新設、部員 5 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 37. 4. 1 保原町常備消防部 部員 1 名増員、総員 6 名となる。
- 昭和 38.10.25 保原町常備消防部に小型動力ポンプ(B3級)1 台配置される。
- 昭和 41. 6. 1 常備消防協議会方式による桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備消防部を桑折町字堰下 1 番地内に新設、部員 7 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 42. 4.12 桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備消防部に日本損害保険協会より消防ポンプ自動車 1 台寄贈される。
- 昭和 44. 4. 1 保原町常備消防部 部員 2 名増員、総員 8 名となる。
- 昭和 44.10. 1 梁川町に役場職員併任による常備消防部新設、部員 24 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 44.11. 1 川俣町に常備消防部新設、部員 9 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 45. 2. 1 桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備消防部 部員 1 名増員、総員 8 名となる。
- 昭和 45. 4. 1 川俣町常備消防部 部員 2 名増員、総員 11 名となる。
- 昭和 46. 1.14 川俣町常備消防部に日本自動車工業会より救急車 1 台寄贈される。
- 昭和 46. 2. 消防に関する事務を共同処理するため、伊達地方消防組合の設立について、桑折町、伊達町、国見町、梁川町、保原町、霊山町及び月舘町の各町議会においてそれぞれ議決される。
- 昭和 46. 3. 9 福島県知事へ伊達地方消防組合設立の許可申請をする。
- 昭和 46. 4. 1 福島県指令地第 572 号をもって設立が許可され伊達地方消防組合が発足する。
- 昭和 46. 4. 1 川俣町常備消防部救急業務開始に伴い部員 2 名増員、総員 13 名となる。
- 昭和 46. 5. 1 伊達地方消防組合に消防本部を設置する。
県より職員 1 名の派遣を受ける。
- 昭和 46. 9. 1 消防職員 1 名採用、総員 2 名となる。
- 昭和 46.10. 1 消防職員採用試験を実施する。
- 昭和 46.10.11 消防職員 13 名採用、総員 15 名となる。
- 昭和 46.10.21 消防本部、中央消防署及び東分署庁舎建設工事請負契約を締結する。
- 昭和 46.12.24 消防本部に司令車 1 台配置する。
- 昭和 47. 1. 7 消防職員 20 名採用、総員 35 名となる。
- 昭和 47. 2. 1 消防職員 1 名採用、総員 36 名となる。
- 昭和 47. 3.27 消防本部、中央消防署庁舎(鉄筋コンクリート一部 3 階建 973.73 m²、建設事業費 55,870 千円)を保原町大字大泉字大地内 93 番地内に新築、また東分署庁舎(鉄筋コンクリート 2 階建 377.71 m²、建設事業費 20,050 千円)を霊山町大字下小国字畑尻 45 番地内に新築する。
- 昭和 47. 3.28 日本損害保険協会より救急車(3B型)1 台寄贈される。
- 昭和 47. 4. 1 伊達地方消防組合に中央消防署を設置し、署に東分署、西分署及び北分署を設置する。
中央消防署に消防ポンプ自動車 1 台及び救急車(3B型)1 台配置、東分署、西分署及び北分署に消防ポンプ自動車各 1 台配置し、消防救急業務を開始する。
保原町より職員 1 名、霊山町より職員 1 名の派遣を受ける。
桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備部より職員 8 名、梁川町常備部より職員 1 名及び保原町常備部より職員 7 名採用、総員 54 名となる。
- 昭和 47. 4. 1 川俣町常備消防部 部員 2 名増員、総員 15 名となる。
- 昭和 47. 5. 1 消防職員 30 名採用、総員 84 名となる。

- 昭和 47. 7.15 日本船舶振興会より救急車(2B型)1台寄贈され西分署に配置する。
- 昭和 47. 8.28 西分署及び北分署庁舎建設工事請負契約を締結する。
- 昭和 48. 1.20 中央消防署、東分署、西分署及び北分署に消防ポンプ自動車各1台配置する。
中央消防署及び東分署に広報連絡車各1台配置する。
東分署及び北分署に可搬式小型動力ポンプ1台配置する。
- 昭和 48. 1.30 西分署及び北分署に広報連絡車各1台配置する。
- 昭和 48. 3.27 西分署庁舎(鉄筋コンクリート2階建 570.92 m²、建設事業費 31,700 千円)を桑折町大字上郡字楽5番地内に新築、また北分署庁舎(鉄筋コンクリート2階建 382.97 m²、建設事業費 23,910 千円)を梁川町字東塩野川 63 番地内に新築する。
- 昭和 48. 3.31 派遣職員1名霊山町に復帰、総員 83 名となる。
- 昭和 48. 4. 1 川俣町及び飯野町が伊達地方消防組合に加入する。
中央消防署に南分署を設置し、消防ポンプ自動車1台、救急車(2B型)1台をもって消防救急業務を開始する。
川俣町より職員1名の派遣を受ける。
川俣町常備消防部より職員 14 名、消防職員 8 名採用、総員 106 名となる。
- 昭和 48. 5.20 南分署に広報連絡車1台配置する。
- 昭和 48. 6. 1 消防職員1名採用、1名退職、総員 106 名となる。
- 昭和 48.10.30 東分署及び北分署に救急車各1台配置する。
- 昭和 48.11.29 日本自動車工業会より救急車(2B型)1台寄贈され南分署に配置する。
- 昭和 49. 3.13 南分署に消防ポンプ自動車及び可搬式小型動力ポンプ各1台配置する。
- 昭和 49. 3.15 中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車(水槽 1,900、発動発電投光器、三連はしご装備)1台配置する。
- 昭和 49. 3.28 西分署に化学消防ポンプ自動車(薬液槽 500、水槽 1,800、低発泡及び高発泡発生放射装置、自動噴霧装置、三連はしご装備)1台配置する。
- 昭和 49. 4. 1 派遣職員1名県に復帰、月舘町より職員1名の派遣を受ける。
消防職員 10 名採用、総員 116 名となる。
- 昭和 49.11. 1 南分署配置の消防ポンプ自動車1台を川俣町に返還する。
- 昭和 50. 1.17 南分署に消防ポンプ自動車1台配置する。
- 昭和 50. 2.13 中央消防署に救助工作車1台配置する。
- 昭和 50. 4. 1 東北高速自動車道、郡山～白石間の開通に伴い、救急業務を開始する。
消防職員 5 名採用、総員 121 名となる。
- 昭和 50. 6.30 派遣職員1名川俣町に復帰、総員 120 名となる。
- 昭和 50. 8. 1 消防職員1名退職、総員 119 名となる。
- 昭和 50.11. 1 消防本部配置の司令車1台更新する。
- 昭和 51. 3. 4 西分署に救急車(2B型)1台配置する。
- 昭和 51. 6.30 派遣職員1名月舘町に復帰、総員 118 名となる。
- 昭和 51.10. 1 消防本部に予防査察車1台配置する。
- 昭和 52. 1.14 南分署配置の救急車(2B型)1台更新する。
中央消防署及び西分署に可搬式小型動力ポンプ各1台配置する。
- 昭和 52. 3.31 消防職員1名退職、総員 117 名となる。
- 昭和 52. 4. 1 消防職員 9 名採用、総員 126 名となる。
- 昭和 52.10.27 中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各1台更新する。
- 昭和 53. 2.28 消防職員1名退職、総員 125 名となる。

- 昭和 53. 4.20 消防職員 1 名退職、総員 124 名となる。
- 昭和 54. 1.27 西分署及び北分署配置の広報連絡車各 1 台更新する。
- 昭和 54. 1.31 中央消防署配置の救急車(2B型)1 台更新する。
- 昭和 54. 2. 3 北分署配置の消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車(水槽 2,000、発動発電投光器、三連はしご装備)に更新する。
- 昭和 54. 3. 5 北分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を梁川町に譲渡する。
- 昭和 54. 4. 1 消防職員 10 名採用、1 名退職、総員 133 名となる。
- 昭和 54 年.10.26 中央消防署訓練場用地 2,911 m²を取得拡張整備する。
- 昭和 54.10.30 南分署配置の広報連絡車 1 台更新する。
西分署配置の救急車(2B型)1 台更新する。
- 昭和 54.12. 7 中央消防署及び西分署配置の消防ポンプ自動車各 1 台更新する。
東分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車(水槽 2,000、発動発電投光器、三連はしご装備)に更新する。
- 昭和 54.12.13 中央消防署配置の消防ポンプ自動車を伊達町に、東分署配置の消防ポンプ自動車を霊山町に、西分署配置の消防ポンプ自動車を国見町にそれぞれ譲渡する。
- 昭和 54.12.14 南分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を飯野町に譲渡する。
- 昭和 55. 7.28 訓練塔本体新築工事請負契約を締結する。
- 昭和 55.10. 1 南分署配置の救急車(2B型)1 台更新する。
- 昭和 55.12.18 東分署及び北分署配置の消防ポンプ自動車各 1 台更新する。
- 昭和 55.12.27 東分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を月舘町に譲渡する。
- 昭和 56. 1.16 北分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を梁川町に譲渡する。
- 昭和 56. 1.25 高所訓練塔(鉄筋コンクリート 5 階建 245 m²)耐熱耐炎訓練塔兼補助塔(鉄筋コンクリート 2 階建 495.5 m²)建築事業費 86,400 千円で新築する。
- 昭和 56. 3.31 県消防学校へ 1 名派遣、1 名退職、総員 132 名となる。
- 昭和 56. 4.30 消防職員 1 名退職、総員 131 名となる。
- 昭和 56. 6.20 消防職員 1 名退職、総員 130 名となる。
- 昭和 56. 7. 7 第 4 回福島県消防救助技術大会を当消防本部中央消防署訓練場にて開催する。
- 昭和 56. 9.30 消防職員 1 名退職、総員 129 名となる。
- 昭和 56.11. 3 消防職員 1 名採用、総員 130 名となる。
- 昭和 56.11.16 東分署及び北分署配置の救急車各 1 台更新する。
- 昭和 56.12.24 中央消防署配置の消防ポンプ自動車 1 台更新する。
- 昭和 57. 1.18 中央消防署配置の消防ポンプ自動車 1 台を保原町に譲渡する。
- 昭和 57. 3.15 中央消防署にはしご付消防ポンプ自動車(24M 級)1 台配置する。
- 昭和 57. 3.25 福島県共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1 台寄贈され、西分署に配置する。
- 昭和 57. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 129 名となる。
- 昭和 57. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 132 名となる。
- 昭和 57. 4.21 消防職員 1 名退職、総員 131 名となる。
- 昭和 57. 9.30 消防本部配置の司令車、査察車各 1 台更新する。
- 昭和 58. 1.31 西分署配置の救急車更新に伴い旧車両を水防用人員資器材搬送車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 58. 2.26 西分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車各 1 台更新する。
- 昭和 58. 3.10 南分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を川俣町に譲渡する。
- 昭和 58. 3.11 西分署配置の消防ポンプ自動車 1 台を桑折町に譲渡する。

- 昭和 58. 4. 1 消防職員 8 名採用、総員 139 名となる。
- 昭和 58. 5.30 消防本部に事務連絡車 1 台配置する。
- 昭和 58.11.21 中央消防署配置の救急車(予備車)1 台更新する。
- 昭和 59. 2. 2 中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車並びに西分署配置の化学消防ポンプ自動車各 1 台更新する。
- 昭和 59. 2.24 中央消防署配置の救急車(予備車)更新に伴い旧車両を指揮広報車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 59. 2.25 中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車を梁川町に、西分署配置の化学消防ポンプ自動車を川俣町に譲渡する。
- 昭和 59. 4.30 消防職員 1 名退職、総員 138 名となる。
- 昭和 59. 9.27 中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各 1 台更新する。
- 昭和 59.11.10 中央消防署厚生室、仮眠室(72 m²)を増築する。
- 昭和 60. 3. 6 伊達地方消防組合並びに川俣町消防団が自治省消防長官より表彰(竿頭授与)される。
- 昭和 60. 4. 1 伊達地方消防組合消防本部の組織に関する規則の一部を改正、消防課を警防課、予防課の 2 課に改組する。
- 昭和 60. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 143 名となる。
- 昭和 60. 6.22 消防本部配置の査察車 1 台更新する。
- 昭和 60. 8.20 消防本部配置の査察車更新に伴い旧車両を照明車に改造、中央消防署に配置する。
- 昭和 60.11.19 中央消防署配置の救助工作車 1 台更新する。
- 昭和 61. 2.24 東分署、南分署及び北分署配置の小型動力ポンプ各 1 台更新する。
- 昭和 61. 3.25 福島県共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1 台寄贈され、中央消防署配置の救急車を更新する。
- 昭和 61. 3.31 中央消防署配置の救急車更新に伴い旧車両を指揮広報車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 61. 4.12 消防職員 1 名退職、総員 142 名となる。
- 昭和 61. 6.10 消防本部配置の水防用人員資器材搬送車 1 台更新する。
- 昭和 61. 7. 9 中央消防署及び西分署の小型動力ポンプ各 1 台更新する。
- 昭和 61. 7.10 車庫兼資材庫(鉄骨ブロック造 60 m²)を新築する。
- 昭和 62. 5.15 伊達地方消防組合消防本部並びに梁川町消防団が 8.5 水害救援救助活動によって福島県知事より表彰(竿頭授与)される。
- 昭和 62. 6. 8 中央消防署に消防用トラック(2t)1 台配置する。
- 昭和 62. 8.31 日本消防協会より救急車(2B型)1 台寄贈され、西分署配置の救急車を更新する。
- 昭和 62.12. 1 西分署配置の救急車更新に伴い旧車両を水防用人員資器材搬送車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 62.12.28 南分署庁舎炊事室(9.5 m²)を増築する。
- 昭和 63. 1.25 消防本部配置の旧水防用人員資器材搬送車 1 台廃車する。
- 昭和 63. 4. 1 消防職員 2 名採用、総員 144 名となる。
- 昭和 63. 8. 1 西分署及び南分署配置の広報連絡車各 1 台更新する。
- 平成 元. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 143 名となる。
- 平成 元. 4. 3 消防職員 1 名採用、総員 144 名となる。
- 平成 元.6.29 第 12 回福島県消防救助技術大会を当消防本部中央消防署訓練場にて開催する。
- 平成 元.12.15 北分署配置の広報連絡車 1 台更新する。
- 平成 2. 1.31 南分署配置の救急車 1 台更新する。

- 平成 2. 4. 1 4週6休制実施(3部制試行)する。
- 平成 2.10.15 東分署及び北分署配置の救急自動車各1台更新する。
- 平成 3. 3.31 消防職員1名退職、総員143名となる。
- 平成 3.12.18 西分署配置の救急車1台更新する。
- 平成 4. 1.16 水槽付消防ポンプ自動車1台を梁川町に譲渡する。
- 平成 4. 2. 7 北分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。
- 平成 4. 3.31 消防職員1名退職、総員142名となる。
- 平成 4. 4. 1 消防職員3名採用、総員145名となる。
- 平成 4.10.26 消防職員1名退職、総員144名となる。
- 平成 4.12. 2 消防ポンプ自動車1台を月舘町に譲渡する。
- 平成 5. 1.29 東分署配置の消防ポンプ自動車1台更新する。
- 平成 5. 2.14 完全週休2日制を実施する。
- 平成 5. 3.26 福島県共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1台寄贈され、中央消防署配置の救急車(予備車)を更新する。
- 平成 5. 3.31 消防職員1名退職、総員143名となる。
- 平成 5. 9.30 財団法人日本防火協会より防火広報車1台寄贈される。
- 平成 5.10.31 消防職員1名退職、総員142名となる。
- 平成 6. 3.10 中央消防署及び北分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。
- 平成 6. 3.31 消防職員1名退職、総員141名となる。
- 平成 6. 4. 1 福島県消防学校に職員1名を平成8年3月31日までの期間派遣する。
- 平成 6. 6.30 消防職員1名退職、総員140名となる。
- 平成 6. 9.13 消防本部配置の司令車1台を更新し、旧車両を連絡車として消防本部に配置する。
- 平成 6. 9.30 消防本部配置の事務連絡車1台廃車する。
- 平成 7. 1.24 東分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。
- 平成 7. 3.31 消防職員1名退職、総員139名となる。
- 平成 7. 6.30 消防職員1名退職、総員138名となる。
- 平成 7. 7. 9 水槽付消防ポンプ自動車1台を月舘町に譲渡する。
- 平成 7. 9.13 消防本部配置の連絡車1台廃車する。
- 平成 7. 9.26 南分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。
- 平成 8. 4. 1 消防職員3名採用、総員141名となる。
- 平成 8. 9.20 中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各1台更新する。
- 平成 8.10.14 西分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。
- 平成 8.10.25 消防ポンプ自動車1台を梁川町に譲渡する。
- 平成 8.12.25 消防本部に事務連絡車1台配置する。
- 平成 9. 3.31 消防職員1名退職、総員140名となる。
- 平成 9. 6.23 消防本部配置の査察車1台更新する。
- 平成 9.12.18 中央消防署配置の救急自動車を高規格救急自動車に更新する。
- 平成 10. 4. 1 高度救急業務を開始する。
消防職員3名採用、総員143名となる。
福島県消防防災航空隊に職員1名を平成13年3月31日までの期間派遣する。
- 平成 10.10.28 中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。

- 平成 10.11.13 水槽付消防ポンプ自動車 1 台を梁川町に譲渡する。
- 平成 11. 3. 8 西分署配置の救急自動車を高規格救急自動車を更新する。
- 平成 11. 3.30 福島総合警備保障株式会社より広報連絡車(トヨタカルディナバン 1500cc)1 台寄贈され南分署配置の広報連絡車を更新する。
- 平成 11. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 142 名となる。
- 平成 11.11.29 西分署配置の化学消防ポンプ自動車 1 台更新する。
- 平成 12. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 141 名となる。
- 平成 12. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 145 名となる。
- 平成 12. 9.30 消防職員 1 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 12.11.28 南分署配置の救急自動車 1 台更新する。
- 平成 12.12. 8 西分署配置の高規格救急自動車 1 台を南分署に、南分署配置の救急自動車 1 台を西分署にそれぞれ配置替えする。
- 平成 13. 1.10 中央消防署配置の救助工作車 1 台更新する。
- 平成 13. 3.31 消防職員 4 名退職、総員 140 名となる。
- 平成 13. 7.31 消防職員 1 名退職、総員 139 名となる。
- 平成 13.11.12 西分署配置の広報連絡車 1 台更新する。
- 平成 13.11.14 東分署及び北分署配置の救急自動車各 1 台更新する。
- 平成 14. 2. 6 消防本部配置の人員資器材搬送車 1 台更新する。
- 平成 14. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 138 名となる。
- 平成 14. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 143 名となる。
福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 16 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 15. 2.26 北分署庁舎(鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2 階建 560.57 m²、建設事業費 209,837 千円)を梁川町希望ヶ丘 97 番地の 1 に新築移転する。
- 平成 15. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 146 名となる。
- 平成 15. 6.30 全国共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1 台寄贈され西分署配置の救急車 1 台更新する。
- 平成 16. 3.31 消防職員 2 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 16. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 147 名となる。
福島県消防学校に職員 1 名を平成 18 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 16.10.23 新潟県中越地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として 2 隊 5 名派遣する。
- 平成 17. 3.31 消防職員 2 名退職、総員 145 名となる。
- 平成 17. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 149 名となる。
- 平成 17.11. 4 中央消防署に指揮兼照明車 1 台配置する。
北分署配置の広報連絡車 1 台更新する。
- 平成 18. 1. 1 伊達町、梁川町、保原町、霊山町及び月舘町が合併し、伊達市となり、1 市 4 町で構成する消防組合となる。
- 平成 18. 3.31 消防職員 3 名退職、総員 146 名となる。
- 平成 18. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 150 名となる。
福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 20 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 18. 4.10 平成 18 年 1 月 1 日伊達市設置に伴い、福島県知事へ伊達地方消防組規約変更の許可申請をする。
- 平成 18. 5. 1 福島県指令北振第 69 号をもって規約変更が許可される。
- 平成 19. 3.31 消防職員 6 名退職、総員 144 名となる。

- 平成 19. 4. 1 消防職員7名採用、総員 151 名となる。
- 平成 19. 9. 5 消防本部配置の防火広報車1台更新する。
- 平成 19.12.22 中央消防署配置の救急自動車(予備車)1台を高規格救急自動車に更新し、南分署に配置、南分署配置の救急自動車を中央消防署(予備車)に配置替える。
- 平成 20. 3.27 地方自治法の一部を改正する法律の施行により、収入役制度が会計管理者制度となったこと並びに平成 20 年 7 月 1 日をもって飯野町が福島市に編入合併となることに伴い、福島県知事へ伊達地方消防組合同規約変更の許可申請をする。
- 平成 20. 3.31 福島県指令北振第 7028 号をもって規約変更が許可される。
消防職員 7 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 20. 4. 1 消防職員 8 名採用、総員 152 名となる。
福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 22 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 20. 5.14 東分署訓練場等拡張用地 957 m²を取得する。
- 平成 20. 6.14 岩手・宮城内陸地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として 2 隊 6 名派遣する。
- 平成 20. 7. 1 飯野町が福島市に編入合併したことに伴い、1 市 3 町の消防組合となる。
福島市より旧伊達郡飯野町の区域における消防事務(消防団に関する事務並びに水利施設の設置、維持及び管理に関する事務を除く。)の委託を受ける。
- 平成 20. 7.24 岩手県沿岸北部地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として 2 隊 6 名派遣する。
- 平成 20.10.31 東分署訓練場等敷地を拡張造成する。
- 平成 21. 2.20 財団法人日本消防協会より指揮広報車(スバルレガシー2000cc)1 台寄贈される。
- 平成 21. 3.12 財団法人日本消防協会寄贈の指揮広報車 1 台を消防本部に配置する。
東分署配置の消防ポンプ自動車 1 台更新する。
北分署配置の水槽付消防ポンプ自動車(圧縮泡消火システム搭載)1 台更新する。
- 平成 21. 3.31 消防職員 10 名退職、総員 142 名となる。
- 平成 21. 4. 1 消防職員 9 名採用、総員 151 名となる。
- 平成 21. 12.22 中央消防署配置の高規格救急自動車 1 台及び資機材搬送車 1 台それぞれ更新する。
- 平成 22. 2. 8 北分署配置の消防ポンプ自動車 1 台更新する。
- 平成 22. 3.31 消防職員 8 名退職、総員 143 名となる。
- 平成 22. 4. 1 消防職員 10 名採用、総員 153 名となる。
福島県消防学校に職員1名を平成 24 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 22.10. 1 家庭救命士制度創設。普通救命講習3回以上受講者に対し交付開始する。
- 平成 23. 3.11 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生、警防本部を設置のうえ、全職員体制で災害に対応する。大震災に伴い、東京電力福島第一原子力発電所で事故発生、放射能漏れいが起こる。福島県広域消防相互応援協定に基づき、浜通りで応援活動を行う。
- 平成 23. 3.14 中央消防署配置のはしご付消防自動車 1 台更新する。
- 平成 23. 3.31 消防職員 7 名退職、総員 146 名となる。
- 平成 23. 4. 1 消防職員 7 名採用、総員 153 名となる。
- 平成 23. 4.22 原発事故の影響により、川俣町山木屋地区が、隣接の相馬郡飯館村等とともに計画的避難区域に指定され、同地区住民が避難を強いられる。以後、居住者のいない山木屋地区で想定される火災の大規模化に対応するため、火災予防巡回を展開する。
- 平成 23. 5. 1 東日本大震災と原発事故の影響により、平成 23 年 4 月 1 日付予定の定期人事異動が 1 カ月遅れで行われる。
- 平成 23. 5.25 原発事故による警戒区域等からの避難者の一時帰宅に対し、傷病者発生時対応のため平成 23 年 8 月 26 日まで延べ救急隊 21 隊及び支援隊 16 隊の派遣協力を行う。
- 平成 24. 2.20 中央消防署配置の消防ポンプ自動車 1 台及び同配置の水槽付消防ポンプ自動車(圧縮泡消火システム搭載)1 台をそれぞれ更新する。旧水槽付消防ポンプ自動車は、東分署

に配置替えし、東分署の水槽付消防ポンプ自動車を、伊達市に譲渡する。

- 平成 24. 2.28 原発事故による計画的避難区域である川俣町山木屋地区の火災対応のため、南分署の水槽付消防ポンプ自動車と北分署の水槽付消防ポンプ自動車(圧縮泡消火システム搭載)を配置替えする。
- 平成 24. 3.28 全国共済農業協同組合連合会より高規格救急自動車 1 台寄贈される。
- 平成 24. 3.29 原発事故による計画的避難区域である川俣町山木屋地区の火災対応のため、大阪府高槻市消防本部より、小型動力ポンプ付水槽車 1 台の無償譲渡を受ける。
- 平成 24. 3.31 消防職員 9 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 24. 4. 1 消防職員 11 名採用、総員 155 名となる。

伊達地方消防組合市町別・面積・世帯数・人口調

(平成24年4月1日現在)

市町別	区分	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人口		
				計(人)	男(人)	女(人)
伊達市		265.10	20,713	64,117	31,134	32,983
桑折町		42.97	4,043	12,462	5,873	6,589
国見町		37.90	3,177	9,896	4,763	5,133
川俣町		127.66	5,104	15,015	7,345	7,670
計		473.63	33,037	101,490	49,115	52,375
福島市飯野町 (事務受託区域)		21.31	1,859	5,800	2,853	2,947
合計		494.94	34,896	107,290	51,968	55,322

平成20年7月1日伊達郡飯野町が福島市に編入合併となったことに伴い、福島市より同区域における常備消防事務の委託を受ける。

伊達地方消防組合市町別・面積・人口・世帯数に対する消防力

(平成24年4月1日現在)

市町別	区分	管轄署(分署)	消防吏員1人当り		消防団員1人当り		消防ポンプ1台当り		
			人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	面積km ²
伊達市保原町		消防本部・中央消防署	692.2	225.1	47.2	15.3	525.5	169.8	2.2
伊達市梁川町	中央消防署北分署								
伊達市霊山町	中央消防署東分署								
伊達市月舘町									
伊達市(旧伊達町)	中央消防署西分署								
桑折町									
国見町									
川俣町	中央消防署南分署								
福島市飯野町 (事務受託区域)									
1市3町及び事務受託区域1	1本部・1署・4分署	692.2	225.1	41.0	13.4	485.6	158.1	2.3	

消防ポンプは団ポンプ、可搬ポンプも含む。

伊達地方消防組合管理者等及び組合議員等調

管 理 者 等

(平成24年6月1日現在)

職 名	氏 名	現 職 名	備 考
管 理 者	仁 志 田 昇 司	伊 達 市 長	
副 管 理 者	高 橋 宣 博	桑 折 町 長	
〃	佐 藤 力	国 見 町 長	
〃	古 川 道 郎	川 俣 町 長	
会 計 管 理 者	西 戸 哲 夫	伊 達 市 会 計 管 理 者	

組 合 議 員

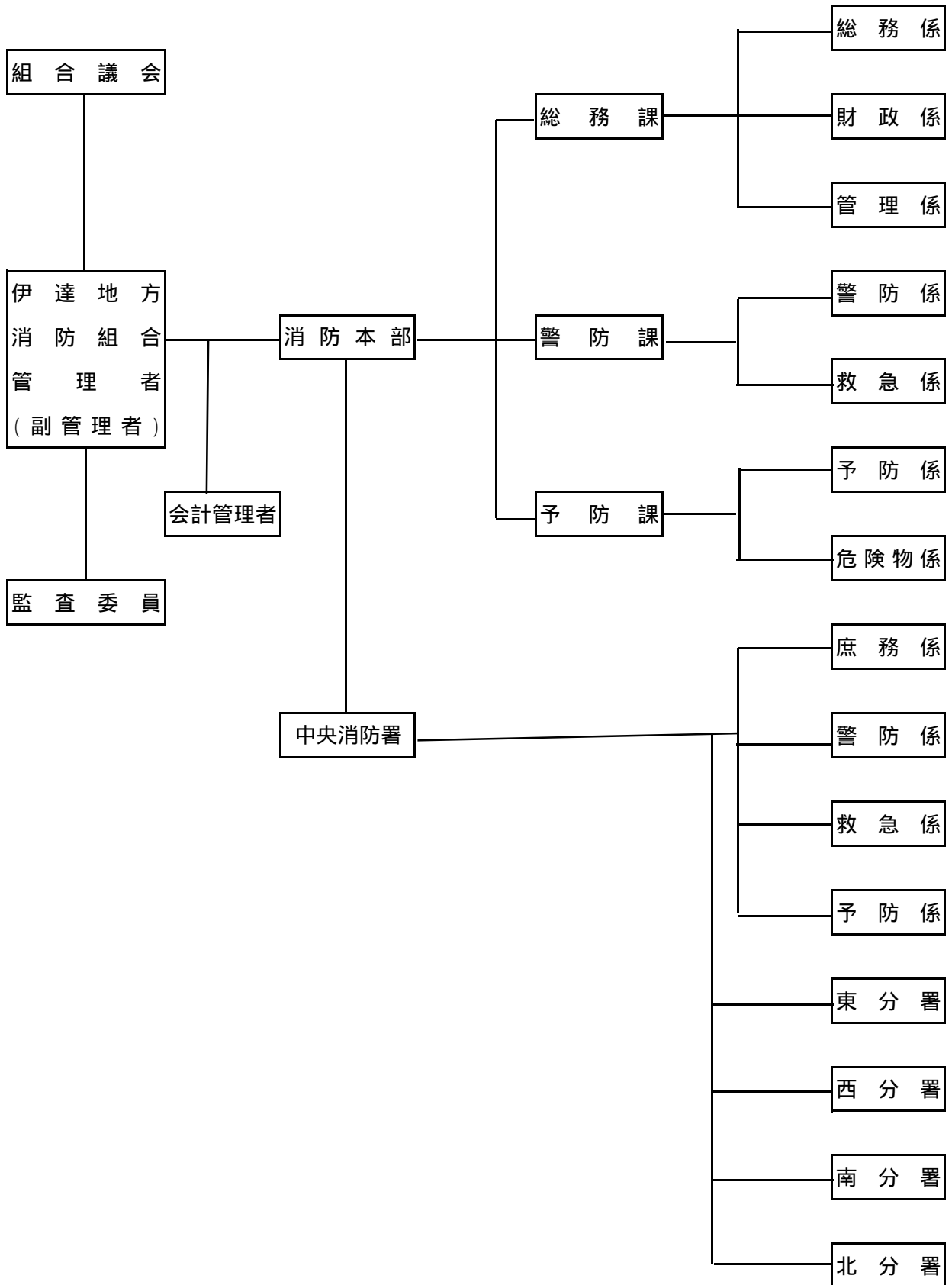
副 議 長	鳴 原 利 光	川 俣 町 議 会 議 員	
議 員	原 賢 志	桑 折 町 議 会 議 員	
〃	松 山 善 二	〃 議 会 議 員	
〃	渡 辺 勝 弘	国 見 町 議 会 議 員	
〃	浅 野 富 男	〃 議 会 議 員	
〃	菅 野 喜 明	伊 達 市 議 会 議 員	
〃	大 和 田 俊 一 郎	〃 議 会 議 員	
〃	佐 々 木 彰	〃 議 会 議 員	
〃	小 野 誠 滋	〃 議 会 議 員	
〃	佐 藤 実	〃 議 会 議 員	
〃	菅 野 富 夫	〃 議 会 議 員	
〃	半 澤 隆	〃 議 会 議 員	
〃	高 橋 真 一 郎	川 俣 町 議 会 議 員	

監 査 委 員

委 員	佐 藤 静 雄		識 見 者
〃	浅 野 富 男		議 会 選 出

総務

伊達地方消防組合・消防本部・消防署組織



伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)事務分掌

消防本部事務分掌

総務課

- 1 組織及び総合企画、調整に関する事。
- 2 職員の任免、分限、懲戒、服務その他身分に関する事。
- 3 職員の給与その他勤務条件に関する事。
- 4 条例、規則及び規程等に関する事。
- 5 公印の管理に関する事。
- 6 叙位、叙勲及び表彰に関する事。
- 7 文書の収受、発送、編集及び保存に関する事。
- 8 職員の教養及び研修に関する事。
- 9 財務に関する事。
- 10 職員の服制に関する事。
- 11 職員の給貸与品に関する事。
- 12 職員の健康管理及び福利厚生に関する事。
- 13 職員の公務災害等補償に関する事。
- 14 職員の共済事務等に関する事。
- 15 消防の広報及び消防統計に関する事。
- 16 消防長会に関する事。
- 17 消防施設の維持管理及び営繕に関する事。
- 18 伊達地方消防組合事務に関する事。
- 19 その他特命事項に関する事。
- 20 その他、他の主管に属さない事項に関する事。

警防課

- 1 火災その他災害の警戒及び防ぎよに関する事。
- 2 消防計画及び訓練に関する事。
- 3 消防対策の企画立案及び総合調整に関する事。

- 4 消防通信に関すること。
- 5 消防の地理、水利に関すること。
- 6 消防車両の整備に関すること。
- 7 各種消防装備資器材等の整備、管理に関すること。
- 8 消防装備資器材の取り扱い及び技術開発研究に関すること。
- 9 警防隊の総合運用に関すること。
- 10 職員の教養訓練に関すること。
- 11 救急業務に関すること。
- 12 防災及び救急医療機関との連絡調整に関すること。
- 13 救助業務に関すること。
- 14 特命救助隊に関すること。
- 15 消防相互応援に関すること。
- 16 警防、救急、救助統計及び消防情報に関すること。
- 17 救急隊及び救助隊の運用に関すること。
- 18 救急知識の普及向上に関すること。
- 19 災害防除及び救助技術の研究、指導、訓練に関すること。
- 20 職員の安全管理に関すること。
- 21 救急及び救助用装備資器材の整備、管理に関すること。
- 22 災害の受付及び出場指令に関すること。
- 23 災害通信の運用及び通信統制に関すること。
- 24 救急搬送証明に関すること。
- 25 防災会議及び災害対策本部に関すること。
- 26 消防団との連絡協調に関すること。
- 27 消防協会伊達支部に関すること。
- 28 その他特命事項に関すること。
- 29 その他、他の主管に属さない警防事務に関すること。

予 防 課

- 1 火災予防対策の企画及び総合調整に関すること。
- 2 防火思想の普及向上に関すること。

- 3 予防査察に関する事。
- 4 建築物の許可、認可又は確認同意に関する事。
- 5 火災気象通報の伝達及び火災警報の発令等に関する事。
- 6 火災原因、損害の調査並びに火災報告に関する事。
- 7 予防統計及び予防情報に関する事。
- 8 予防広報及び広聴に関する事。
- 9 危険物の規制及び保安に関する事。
- 10 液化石油ガス販売施設の意見書に関する事。
- 11 火災予防条例に関する事。
- 12 防火管理に関する事。
- 13 消防用設備等の指導及び検査に関する事。
- 14 火災証明に関する事。
- 15 報道関係機関との連絡に関する事。
- 16 自主防災組織の育成、指導に関する事。
- 17 危険物安全協会に関する事。
- 18 消防設備士協会に関する事。
- 19 予防用資器材の整備及び管理に関する事。
- 20 その他特命事項に関する事。
- 21 その他、他の主管に属さない予防事務に関する事。

中央消防署事務分掌

庶務係

- 1 公印の管理に関する事。
- 2 文書の収受、発送及び保存に関する事。
- 3 職員の服務に関する事。
- 4 職員の給与の支給に関する事。
- 5 職員の健康管理及び福利厚生に関する事。
- 6 職員の被服等の給貸与に関する事。
- 7 庁舎の維持管理に関する事。
- 8 庁舎内設備の点検、整備及び使用に関する事。
- 9 分署に関する事。
- 10 その他、他の主管に属さない事項に関する事。

警防第1係、警防第2係、警防第3係

- 1 火災等災害の警戒及び鎮圧に関する事。
- 2 警防、救急隊の編成及び運用に関する事。
- 3 救助隊の編成及び運用に関する事。
- 4 消防計画の運用に関する事。
- 5 車両の点検、整備及び管理に関する事。
- 6 消防、救助、救急用機械器具及び設備の点検、整備及び運用に関する事。
- 7 職員の教養訓練に関する事。
- 8 装備及び資材に関する事。
- 9 消防の地理及び水利の調査並びに水利の確保に関する事。
- 10 災害現場における警戒区域の設定に関する事。
- 11 警防調査に関する事。
- 12 消防団との連絡及び協同行動に関する事。
- 13 自衛消防隊の指導に関する事。
- 14 相互応援の実施に関する事。
- 15 その他、他の主管に属さない警防、救急及び救助に関する事。

救急第 1 係、救急第 2 係、救急第 3 係

- 1 救急隊の編成及び運用に関すること。
- 2 救急用機械器具及び設備の点検、整備及び運用に関すること。
- 3 その他、他の主管に属さない救急に関すること。

予防第 1 係、予防第 2 係、予防第 3 係

- 1 火災等災害予防の企画及び指導に関すること。
- 2 火災等災害の原因調査及び損害調査に関すること。
- 3 消防対象物等の防火査察、指導及び取締りに関すること。
- 4 危険物規制の調査、指導及び取締りに関すること。
- 5 防火管理の指導に関すること。
- 6 建築許可等の同意事務の調査に関すること。
- 7 火災等災害気象の通報及び警報の伝達に関すること。
- 8 屋外における火災予防に関すること。
- 9 火の使用の制限に関すること。
- 10 火災予防思想の普及宣伝に関すること。
- 11 火災等災害報告に関すること。
- 12 火災予防条例関係の届出に関すること。
- 13 防火協力団体の指導に関すること。
- 14 その他、他の主管に属さない火災等災害予防に関すること。

分署事務分掌

庶務係

- 1 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- 2 職員の服務に関すること。
- 3 職員の健康管理に関すること。
- 4 庁舎の維持管理に関すること。
- 5 庁舎内設備の点検、整備及び使用に関すること。
- 6 その他、他の主管に属さない庶務に関すること。

警防救急係

- 1 火災等災害の警戒及び鎮圧に関する事。
- 2 警防、救急及び救助活動並びに訓練に関する事。
- 3 警防隊及び救急隊の編成、運用に関する事。
- 4 車両の点検、整備及び管理に関する事。
- 5 消防、救急用機械器具及び設備の点検、整備に関する事。
- 6 装備及び資材に関する事。
- 7 消防の地理及び水利の調査並びに水利の確保に関する事。
- 8 警防調査に関する事。
- 9 消防団との連絡及び協同行動に関する事。
- 10 自衛消防隊の指導に関する事。
- 11 その他、他の主管に属さない警防、救急に関する事。

予 防 係

- 1 消防対象物等の防火査察、指導及び取締りに関する事。
- 2 火災等災害の原因調査及び損害調査に関する事。
- 3 火災等災害気象の通報及び警報の伝達に関する事。
- 4 屋外における火災予防に関する事。
- 5 火の使用の制限に関する事。
- 6 火災予防思想の普及宣伝に関する事。
- 7 火災等災害報告に関する事。
- 8 火災予防条例関係の届出に関する事。
- 9 防火協力団体の指導に関する事。
- 10 その他、他の主管に属さない火災等災害予防に関する事。

消防機関所在地

名称	所在地	電話番号	郵便番号
伊達地方消防組合 消 防 本 部	伊達市保原町大泉字大地内 93-1	TEL 024-575-4101 FAX 024-575-4103	960-0634
中 央 消 防 署	〃	TEL 024-575-4101 FAX 024-575-4124	〃
中央消防署東分署	伊達市霊山町下小国字畑尻 45-3	TEL 024-586-1254 FAX 024-586-3430	960-0808
中央消防署西分署	桑折町大字上郡字楽 5	TEL 024-582-3190 FAX 024-582-4904	969-1661
中央消防署南分署	川俣町字五百田 31	TEL 024-566-2145 FAX 024-566-4406	960-1428
中央消防署北分署	伊達市梁川町希望ヶ丘 97-1	TEL 024-577-1244 FAX 024-577-4469	960-0729



←消防本部・中央消防署



東分署→



←西分署



南分署→



←北分署

消防訓練塔



消防庁舎の現状

名称	区分	敷地面積 m ²	構造	建築延面積 m ²	建築年月日
消防本部	高所訓練塔 耐熱耐煙訓練塔兼補助塔 車庫兼資材庫	5,864	鉄筋コンクリート造 3 階建	1,081.96	昭和 47.3
中央消防署			鉄筋コンクリート造 5 階建	245.0	昭和 56.2
高所訓練塔			鉄筋コンクリート造 2 階建	495.5	昭和 56.2
耐熱耐煙訓練塔兼補助塔			鉄骨ブロック造 平屋建	60.0	昭和 61.7
車庫兼資材庫					
東分署		1,988	鉄筋コンクリート造 2 階建	377.71	昭和 47.3
西分署		2,005	鉄筋コンクリート造 2 階建	570.92	昭和 48.3
南分署		1,441	鉄骨ブロック造 2 階建	465.23	昭和 44.10
北分署		2,113	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2 階建	560.57	平成 15.2

平成24年度一般会計予算

歳入

(単位:千円)

款	本年度	左の構成率	前年度	左の構成率	比較		
	予算額		予算額		A	B	(A - B) %
	A	%	B	%	A	B	(A - B) %
1 分担金及び負担金	1,444,300	94.7	1,444,300	94.4	0	0.0	
2 使用料及び手数料	723	0.0	723	0.0	0	0.0	
3 国庫支出金	16,000	1.0	1	0.0	15,999	1,599,900.0	
4 財産収入	26	0.0	30	0.0	4	13.3	
5 寄附金	1	0.0	1	0.0	0	0.0	
6 繰入金	0	0.0	34,500	2.3	34,500	100.0	
7 繰越金	3,000	0.2	3,000	0.2	0	0.0	
8 諸収入	11,850	0.8	12,745	0.8	895	7.0	
9 組合債	51,100	3.3	35,100	2.3	16,000	45.6	
歳入合計	1,527,000	100.0	1,530,400	100.0	3,400	0.2	

歳出

(単位:千円)

款	本年度	左の構成率	前年度	左の構成率	比較		
	予算額		予算額		A	B	(A - B) %
	A	%	B	%	A	B	(A - B) %
1 議会費	1,248	0.1	1,253	0.1	5	0.4	
2 総務費	35,806	2.3	76,711	5.0	40,905	53.3	
3 消防費	1,455,017	95.4	1,435,505	93.8	19,512	1.4	
4 公債費	31,056	2.0	13,076	0.9	17,980	137.5	
5 予備費	3,873	0.2	3,855	0.2	18	0.5	
歳出合計	1,527,000	100.0	1,530,400	100.0	3,400	0.2	

職員配置状況調

(平成24年4月1日現在)

区分	階級		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副長	消防士	その他の職員	毎日勤務者数
	人員										
合計		155	1	5	35	46	20	0	46	2	34
消防本部	消防長	1	1								1
	次長	1		1							1
	総務課長	(1)		(1)							
	総務課主幹	2			1					1	2
	総務係	2			1	1					2
	管理係	(1)			(1)						
	財政係	(1)2			(1)	1				1	2
	警防課長	1			1						1
	警防課主任主査	1			1						1
	警防係	2				2					1
	救急係	2			1	1					1
	予防課長	1			1						1
	予防課主幹	1			1						1
	予防係	2			1	1					1
	危険物係	(1)1			(1)	1					1
	消防本部付	12				1				11	
計	31		1	3	6	8			11	2	28
中央消防署	署長	1		1							1
	次長	1		1							1
	主幹(当直司令)	3			3						
	庶務係	(6)1			1	(2)	(2)		(2)		
	警防係	(2)10			3	(2)2			5		
	救急係	7			3	2	2				
	予防係	(1)7			3	(1)1	2		1		
	東分署	22			4	9	1		8		1
	西分署	25			4	9	4		8		1
	南分署	25			4	10	5		6		1
	北分署	22			4	5	6		7		1
計	124			2	29	38	20		35		6

(注):()は兼務を示す。

職 員 階 級 別 勤 続 年 数 調

(平成24年4月1日現在)

年数	階級	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
1年未満		11							11	
1年以上	2年未満	7							7	
2年以上	3年未満	10							10	
3年以上	4年未満	9							9	
4年以上	5年未満	8					1		7	
5年以上	6年未満	7					5		2	
6年以上	7年未満	3					3			
7年以上	8年未満	4					4			
8年以上	9年未満	3				1	2			
9年以上	10年未満	3				1	2			
10年以上	11年未満	5				3	2			
11年以上	12年未満									
12年以上	13年未満	4				4				
13年以上	14年未満									
14年以上	15年未満	3				2	1			
15年以上	16年未満									
16年以上	17年未満	3				3				
17年以上	18年未満									
18年以上	19年未満									
19年以上	20年未満									
20年以上	21年未満	3				3				
21年以上	22年未満									
22年以上	23年未満									
23年以上	24年未満									
24年以上	25年未満	2				2				
25年以上	26年未満									
26年以上	27年未満									
27年以上	28年未満	4			2	2				
28年以上	29年未満									
29年以上	30年未満	8			4	4				
30年以上		58	1	5	30	20				2
合	計	155	1	5	36	45	20		46	2
平	均	19.44	39.92	39.74	35.67	26.29	7.15		2.00	36.00

職 員 階 級 別 年 齢 調

(平成24年4月1日現在)

階級 年 齢	計	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他 の職員
20 歳 未 満	11							11	
20 歳 ~ 25 歳	37					6		31	
26 歳 ~ 30 歳	19				2	13		4	
31 歳 ~ 35 歳	11				11				
36 歳 ~ 40 歳	5				4	1			
41 歳 ~ 45 歳	6			2	4				
46 歳 ~ 50 歳	8			4	4				
51 歳 ~ 55 歳	22			12	9				1
56 歳 以 上	36	1	5	18	11				1
合 計	155	1	5	36	45	20		46	2
平 均 年 齢	39.12	58.75	58.07	54.49	45.56	27.62		22.55	56.59

職 員 市 町 村 別 居 住 地 調

(平成24年4月1日現在)

階級 年 齢	計	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他 の職員
伊 達 市	84	1	4	22	21	11		23	2
桑 折 町	17		1	7	4	2		3	
国 見 町	11			3	4	1		3	
川 俣 町	22			3	11	3		5	
福 島 市	21			1	5	3		12	
合 計	155	1	5	36	45	20		46	2

職 員 研 修 状 況 調

(平成23年4月～平成24年3月)

区 分		回 数	人 員	階 級 別 内 訳						
				消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
福 島 県 消 防 学 校	初 任 教 育	1	7							7
	警 防 科	1	1					1		
	予 防 査 察 科	1	1					1		
	救 急 科	1	10							10
	中 級 幹 部 科	1	2				2			
	は し ご 車 運 用 科	1	3					2		1
	救 急 救 命 士 養 成 補 助 教 育 科	1	2					1		1
	第 三 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士 資 格 取 得 講 習	2	6							6
大 消 学 校 防	幹 部 科	1	1			1				
	予 防 科	1	1				1			
救 急 救 命 士 養 成 研 修		2	2					2		
薬 剤 投 与 追 加 講 習		1	1				1			
計		14	37			1	4	7		25

職員特殊技能その他資格取得者調

平成24年4月1日現在

種別		階級	消防監	消 防 長	消 司 防 令	消 司 防 令	消 司 防 令 補	消 士 防 長	消 副 士 防 長	消 防 士	その他の職員	計
警 防 ・ 救 急 関 連	自動車運転免許等	大型	1	3	23	31	20			15		93
		中型								1		1
		中型(8t中型限定)		2	13	14				6	2	37
		普通								24		24
	小型船舶操縦士		1	1	1	16	2					21
	潜水士		1			7	1					9
	日本赤十字社水上安全法救助員			2	5	4						11
	高所作業車技能					1						1
	小型移動式クレーン技能講習				6	13	4			2		25
	玉掛け技能講習				6	13	4					23
	巻上げ機械運転特別教育				5	9						14
	酸素欠乏等危険作業主任者技能講習					6	1					7
	ガス溶接技能講習				4	11	4			2		21
	救 急	救急救命士			9	19	4			1		33
		気管挿管			8	18	4					30
		薬剤投与			4	6	1					11
		課程		4	34	28						66
課程				1							1	
救急科(旧標準課程含む)					17	17			28		62	
ACLS				9	11						20	
JPTEC				5	15	7			3		30	
BLS			2	5	4			2		13		
特殊無線技士		1	4	11	18	9			12		55	
予 防 関 連	予防技術検定	防火査察				7	9			2		18
		危険物				2	1					3
		消防用設備等				1						1
	危険物取扱者	甲種		1	1							2
		乙種	1	3	18	17	14			20		73
	消 防 設備士	甲種		1								1
		乙種			6	3				1		10
防火対象物点検資格者				2							2	
電気工事士			1	1			1		1		4	
そ の 他	火薬類取扱保安責任者		1									1
	衛生管理者			1		1					1	3
	特定化学物質等作業主任者			1	3	4					1	9

火 災 統 計

平成24年度全国統一防火標語

消すまでは 出ない行かない 離れない

平成23年火災概要

1 火災件数

総出火件数は36件で、前年の39件に比べ3件(7.7%)減少しており、当組合発足以降最も少なかった平成4年の28件に次ぐ、2番目に少ない件数を、前年に続いて更新した。

火災種別ごとの内訳(割合)で見ると、建物火災が18件(50%)、林野火災が4件(11%)、車両火災が3件(8%)及びその他火災が11件(31%)となっており、建物火災の占める割合が高い。中でも住宅火災は14件(前年比8件減)で建物火災の78%を占めている。

市町別に火災の発生状況を見ると、伊達市で約半数の17件(前年比1件減)、次いで川俣町9件(同4件増)、桑折町5件(同1件増)、福島市飯野町3件(同1件減)、国見町1件(同1件減)及び東北自動車道1件(前年比同)となっている。

住宅火災については、3年連続で減少している。

その理由として、平成18年6月1日から設置が義務付けられた住宅用火災警報器(以下「住警器」という。)の設置率向上と、それに伴う住民の防火意識の高揚、そして住警器設置促進を含む予防広報が効果的に進められたことにより、火災件数が減少したものと思慮される。

2 焼損棟数及び焼損面積

焼損棟数は49棟で、前年に比べ1棟減少している。

焼損程度別にみると、全焼が24棟(焼損棟数比49%)、半焼が3棟(同6%)、部分焼が18棟(同37%)、ぼやが4棟(同8%)で、建物火災1件あたりの焼損棟数は2.7棟(前年比0.9棟増)であった。

林野火災における焼損面積については、110aと前年に比べ85a増加した。

3 死者及び傷者

火災による死者は3名(うち放火自殺者及び放火の疑いによる死者2名)で、前年に比べ2名増加したこととなる。1名は住宅火災によるもので、住警器は設置されていなかった。

また、傷者は5人で前年に比べ8名減少している。

4 損害額

損害額は、9,727万1千円で、前年に比べると4,644万6千円減少した。

これを1日平均で見ると26万6千円で、前年と比べると12万7千円減少したこととなる。

また、建物火災1件あたりの平均損害額は524万8千円で、前年と比べ、20万6千円増加したこととなる。

5 出火原因

出火原因を原因別(その他及び不明を除く)にみると、たき火9件(25%)が最も多く、次いでコンロ3件(8.3%)、放火及び放火の疑いがそれぞれ2件(5.5%)と続いている。

平成23年火災総括表

区分	市町名	伊達市	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町	桑折町	国見町	川俣町	飯野町	福島市	東北道	合計	前年同期
出火件数	計	17	1	9	3	1	3	5	1	9	3	1		36	39
	建物	10	1	6	2	1		1	1	4	2			18	28
	林野	2					2	1		1				4	2
	車両	1		1						2				3	3
	その他	4		2	1		1	3		2	1	1		11	6
焼損棟数	計	21	1	16	3	1		1	1	21	5			49	50
	全焼	12		11	1					11	1			24	23
	半焼	1			1					1	1			3	5
	部分焼	5		4		1		1		9	3			18	13
	ぼや	3	1	1	1				1					4	9
罹災世帯	計	8		6	1	1		1	2	11	2			24	28
	全損	4		4						7	1			12	12
	半損									1				1	1
	小損	4		2	1	1		1	2	3	1			11	15
罹災人員		28		22	1	5		5	5	28	3			69	92
死傷者	死者			1				1		1				3	1
	傷者			1				3		1				5	13
焼損面積	床	1047		946	74	27		17		1541	122			2727	4,082
	表	102		102						73	11			186	78
	a	77		2			75	15		18				110	25
損害額	計	46,001	5	42300	1839	1857		596	9	46262	4403			97271	143,717
	建物	45923	5	42222	1839	1857		596	6	43541	4403			94469	141,184
	林野	29		29										29	
	車両	47		47						2684				2731	1,409
	その他	2		2					3	37				42	1,124

建物火災のうち右下の数値は住宅火災の件数

火災概況及び比較表

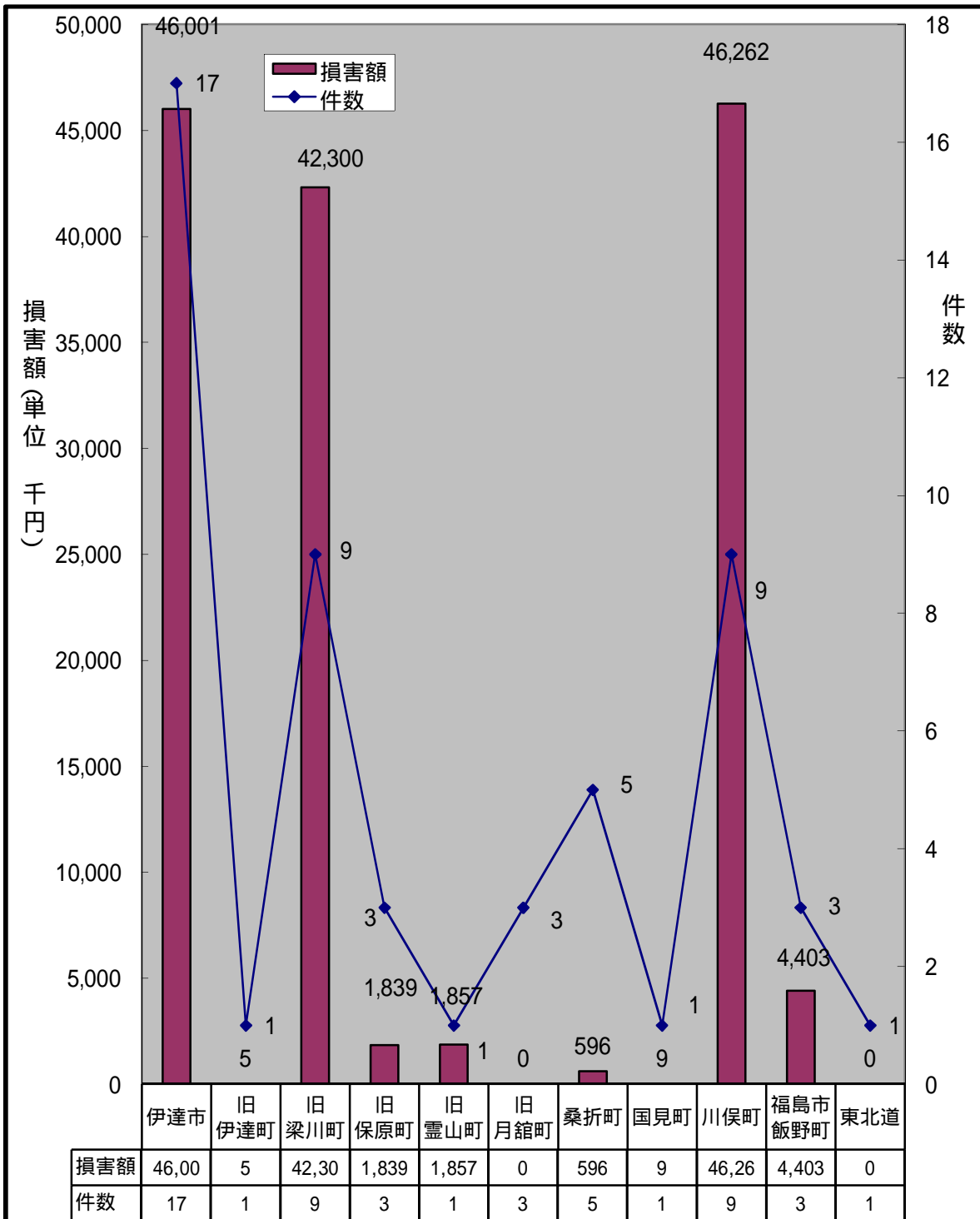
年別		平成23年 (A)	平成22年 (B)	対前年増減数 (A) - (B) = (C)	増減率(C) ÷ (B) × 100%	
区分						
火災発生件数	合 計	36	39	3	7.7	
	建 物 火 災	18	28	10	35.7	
	林 野 火 災	4	2	2	100.0	
	車 両 火 災	3	3	0	0.0	
	そ の 他 火 災	11	6	5	83.3	
焼損棟数	合 計	49	50	1	2.0	
	全 焼	24	23	1	4.3	
	半 焼	3	5	2	40.0	
	部 分 焼	18	13	5	38.5	
	ぼ や	4	9	5	55.6	
焼損面積	建 物 (床) m ²	2,727	4,082	1,355	33.2	
	建 物 (表) m ²	186	78	108	138.5	
	林 野 a	110	25	85	340.0	
罹災	世帯数	合 計	24	28	4	14.3
		全 損	12	12	0	0.0
		半 損	1	1	0	0.0
		小 損	11	15	4	26.7
	人 員	69	92	23	25.0	
損害額 (千円)	合 計	97,271	143,717	46,446	32.3	
	建 物	94,469	141,184	46,715	33.1	
	林 野	29	0	29	-	
	車 両	2,731	1,409	1,322	93.8	
	そ の 他	42	1,124	1,082	96.3	
死傷者	死 者	3	1	2	200.0	
	負 傷 者	5	13	8	61.5	
1日平均損害額(千円)		266	393	127	32.2	
建物火災のみ1件平均損害額		5,248	5,042	206	4.1	
建物火災のみ1日平均損害額		259	386	127	32.9	

市町別・月別火発生状況

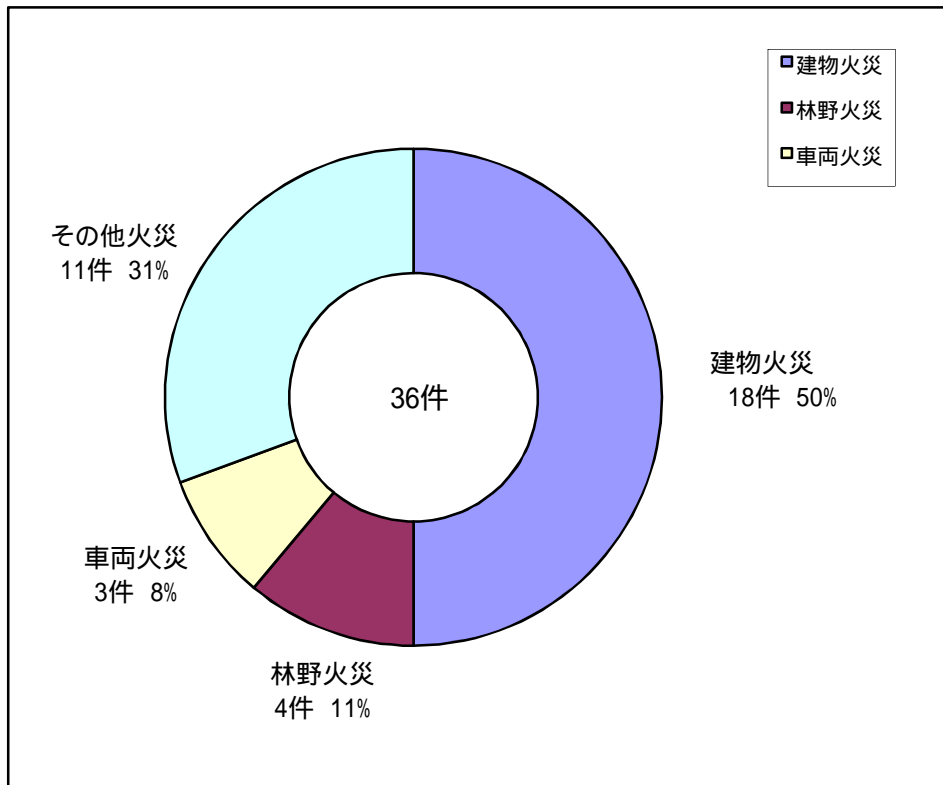
市町別 月別	伊達市	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町	桑折町	国見町	川俣町	飯野町 福島市	東北道	合計	前年計
1	1(1)		1(1)									1(1)	2
2	1		1				1(1)		3	1		6(1)	8
3	4		2	1	1				1			5	6(1)
4	3		1			2	2		1			6	3
5	4	1	1	1		1	1	1	2			8	2
6	1		1						1			2	2
7									1(1)			1(1)	2
8										2	1	3	4
9	1		1									1	2
10													3
11	1			1								1	3
12	1		1				1					2	2
合計	17(1)	1	9(1)	3	1	3	5(1)	1	9(1)	3	1	36(3)	
前年計	23(1)	9	5	3	3(1)	3	4	2	5	4	1		39(1)
増減数	6	8	4	0	2	0	1	1	4	1			3

()内は火災による死者数

火災件数と損害額

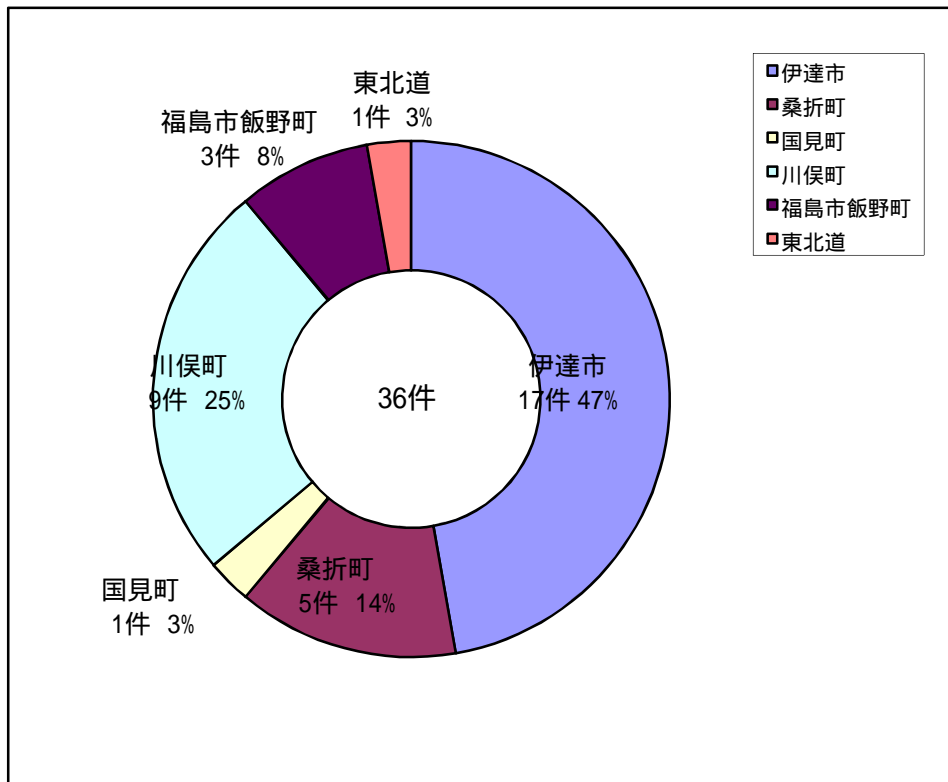


火災種別発生率



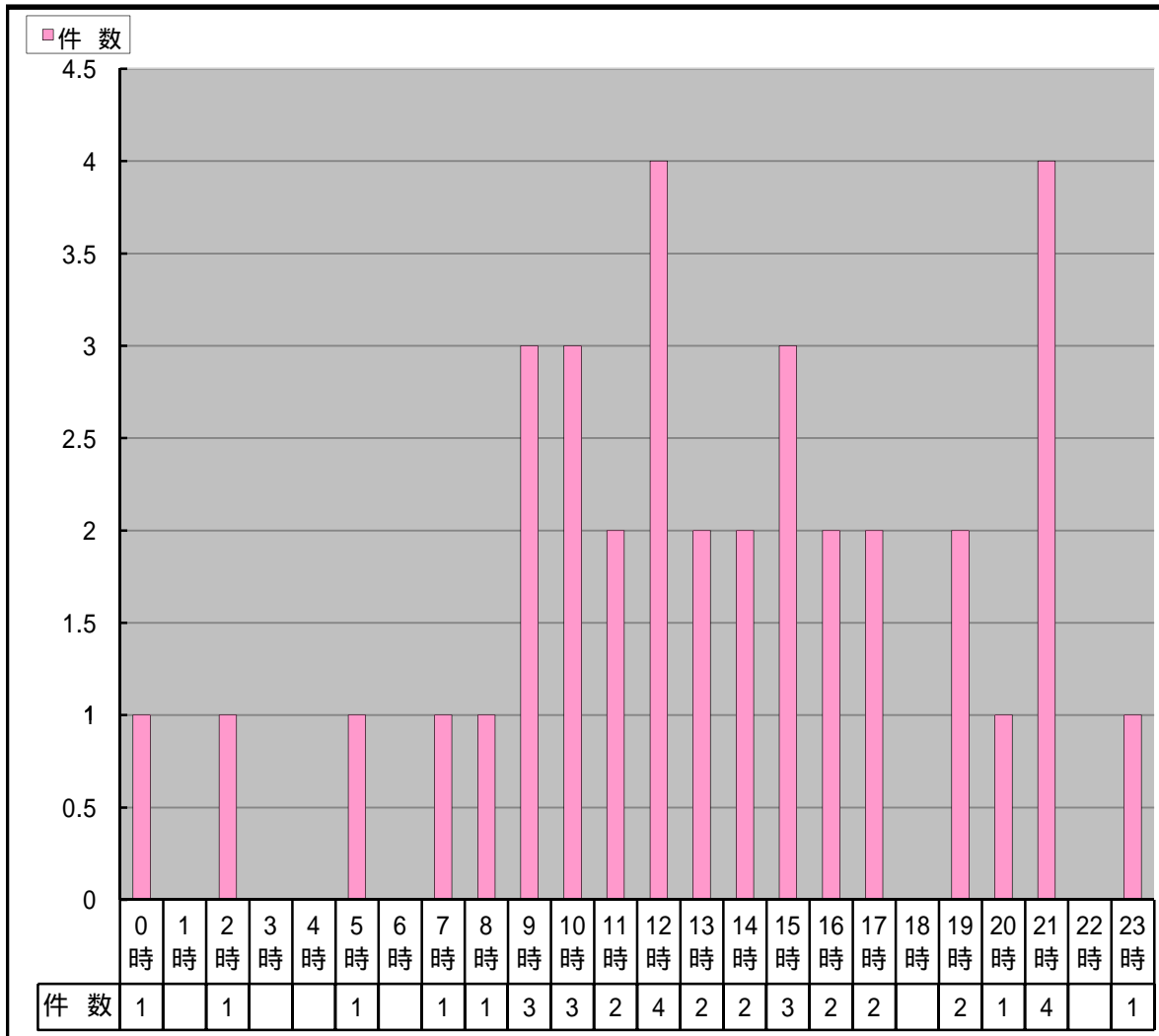
(注) 構成比率は表示単位未満四捨五入

市町別火災発生率



(注) 構成比率は表示単位未満四捨五入

時間別火災発生状況



覚知方法別出火件数

覚知別	出火件数(件)	構成比(%)
火災報知専用電話(119)	12	33
火災報知専用電話(携帯)	12	33
加入電話	4	11
事後聞知	5	14
その他	3	8
合計	36	100

(注)構成比は、表示単位未満四捨五入。

出火率の推移

市町別 \ 年別	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
伊達市					4.1	6.2	3.7	4.1	3.4	2.6
旧伊達町	5.6	0.0	3.6	3.7						
旧梁川町	5.2	8.7	7.1	3.8						
旧保原町	6.0	3.2	5.6	4.8						
旧靈山町	10.3	8.4	3.0	7.3						
旧月舘町	6.6	0.0	17.3	4.4						
桑折町	5.9	4.4	2.9	2.9	4.4	2.2	5.3	3.7	3	3.9
国見町	3.6	7.3	7.2	3.6	3.7	5.6	1.9	7.6	1.9	1.0
川俣町	7.5	6.9	8.9	6.2	4.6	6.1	3.1	4.6	3.1	6.0
福島市飯野町	7.5	4.5	14.8	4.4	4.5	3.1	3.2	6.5	6.5	5.2
伊達管内	6.4	5.4	6.8	4.6	4.2	5.4	3.7	4.5	3.4	3.2
福島県	6.4	5.8	5.7	4.3	4.6	4.5	4.0	4.3	3.5	3.4
全国	5.0	4.4	4.8	4.5	4.2	4.3	4.1	4.0	3.6	3.2

- (注) 1 桑折町、国見町は東北自動車道における火災を除く。
 2 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。
 3 人口は、各市町4月1日現在の推計人口。

火災による死傷者の推移

(単位：人)

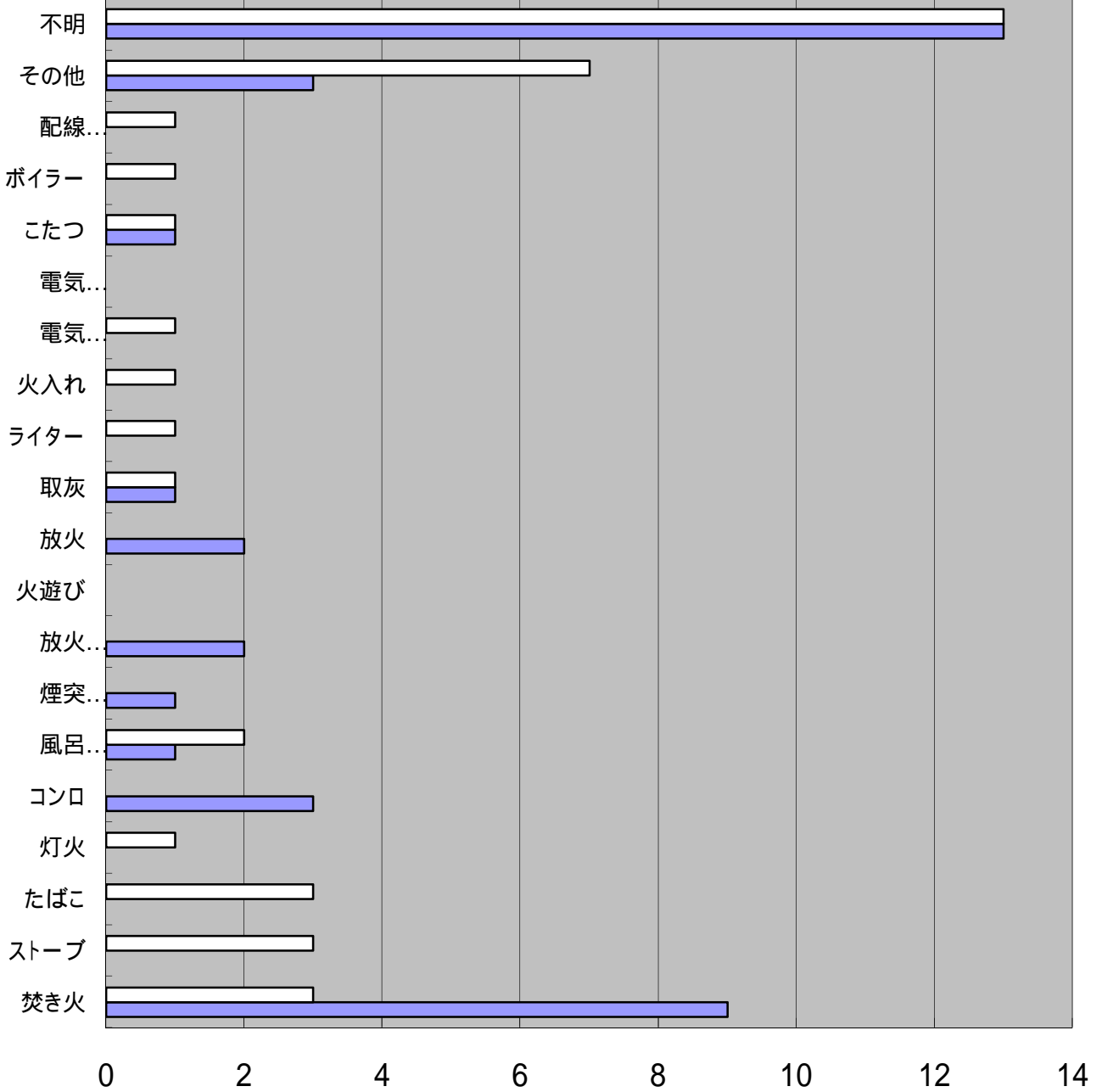
区分 \ 年別	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
死者	5	4	2	1	3	1	2	5	1	3
放火自殺	1	2	0	0	3	0	0	0	0	2
負傷者	10	11	19	6	4	6	5	6	9	5

過去5年間に於ける各市町火災発生状況

(損害額 単位:千円)

市町別 区分		年別					合計	
		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年		
伊達市	出火件数	43	25	28	23	17	136	
	損害額	42,383	46,419	43,718	68,857	46,001	247,378	
	旧伊達町	出火件数	6	5	7	9	1	28
		損害額	2,173	11,225	9,902	15,680	5	38,985
	旧梁川町	出火件数	14	7	3	5	9	38
		損害額	10,492	20,007	1,990	19,277	42,300	94,066
	旧保原町	出火件数	11	6	6	3	3	29
		損害額	2,145	4,207	3,440	8,011	1,839	19,642
	旧靈山町	出火件数	9	6	8	3	1	27
		損害額	20,701	10,980	25,390	9,835	1,857	68,763
	旧月舘町	出火件数	3	1	4	3	3	14
		損害額	6,872	0	2,996	16,054		25,922
	桑折町	出火件数	3	7	5	4	5	24
		損害額	55	1,697	11,806	44,813	596	58,967
国見町	出火件数	6	2	8	2	1	19	
	損害額	19,503	1,851	91,449	105	9	112,917	
川俣町	出火件数	10	5	7	5	9	36	
	損害額	17,992	2,232	23,702	13,588	46,262	103,776	
福島市飯野町	出火件数	2	2	4	4	3	15	
	損害額	108	52	31,632	16,154	4,403	52,349	
東北道	出火件数	0	0	0	1	1	2	
	損害額	0	0	0	200		200	
合計	出火件数	64	41	52	39	36	232	
	損害額	80,041	52,251	202,307	143,717	97,271	575,587	

原因別火災発生状況



	焚き火	ストーブ	たばこ	灯火	コンロ	風呂 かまど	煙突 煙道	放火 疑い	火遊び	放火	取灰	ライター	火入れ	電気 機器	電気 装置	こたつ	ボイラー	配線 器具	その他	不明
□前年計	3	3	3	1	0	2	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	1	7	13
■件数	9	0	0	0	3	1	1	2	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	3	13

気象別出火件数調(湿度)

月別	湿度							計
	40%以下	40%を超え 50%以下	50%を超え 60%以下	60%を超え 70%以下	70%を超え 80%以下	80%を超え 90%以下	90%超え	
1月						1		1
2月		2	2		1	1		6
3月	3		1	1				5
4月	5			1				6
5月	4			1	2	1		8
6月				1	1			2
7月						1		1
8月		1	1		1			3
9月	1							1
10月								
11月				1				1
12月					1	1		2
計	13	3	4	5	6	5		36

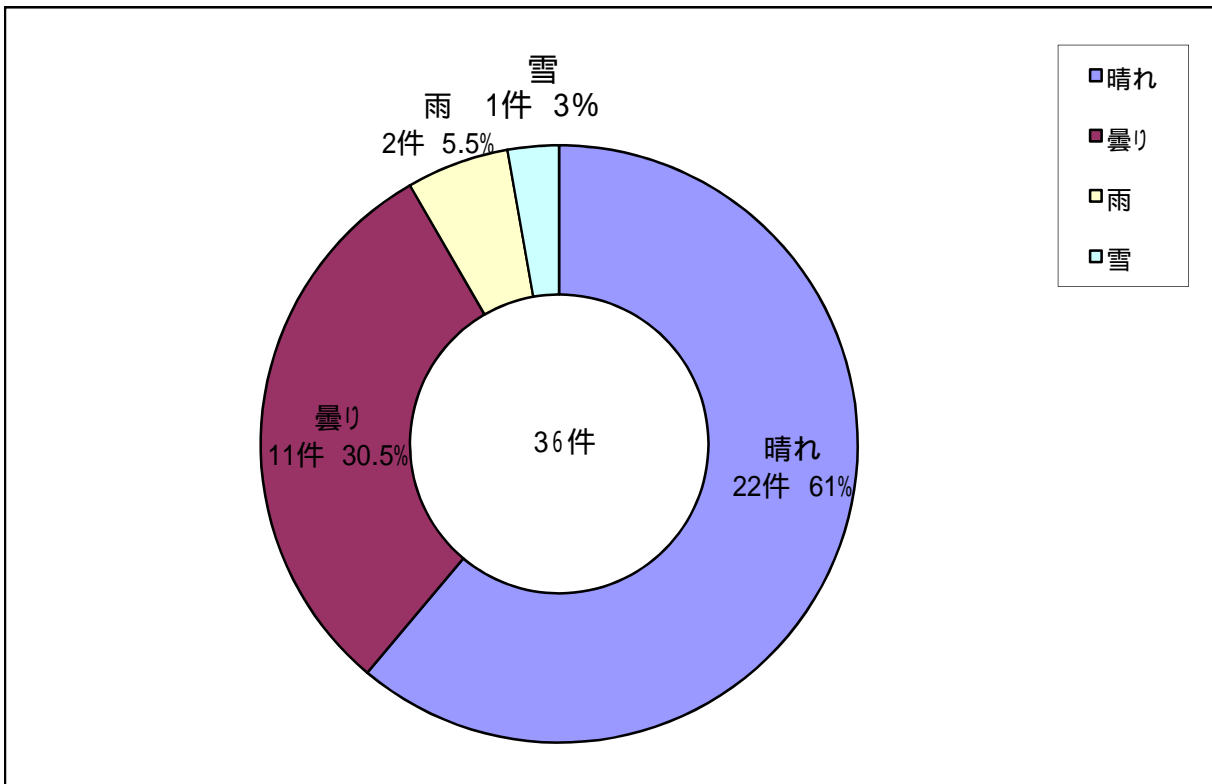
気象別出火件数調(風速)

月別	風速												計	
	1 m以下	2 m	3 m	4 m	5 m	6 m	7 m	8 m	9 m	10 m	11 m	12 m以上		
1月	1													1
2月	2	3	1											6
3月		3	1	1										5
4月	2	2	1	1										6
5月	5		1	1		1								8
6月	2													2
7月	1													1
8月	2			1										3
9月					1									1
10月														
11月		1												1
12月	1	1												2
計	16	10	4	4	1	1								36

曜日別出火件数調

月別 \ 曜日	日	月	火	水	木	金	土	計
1月					1			1
2月	1		1		1	2	1	6
3月		2			1	1	1	5
4月	1	1		1	1	2		6
5月	2			1	1	1	3	8
6月		2						2
7月						1		1
8月	1			1		1		3
9月	1							1
10月								
11月						1		1
12月	1						1	2
計	7	5	1	3	5	9	6	36

気象別出火件数調(天候)



(注) 構成比率は表示単位未満四捨五入。

全国及び福島県の火災記録(10年間)

年・国・県別		火災件数	罹災世帯数	焼損面積		損害額 (千円)	死者	傷者
				建物(m ²)	林野(a)			
平成14年	全国	63,575	31,288	1,634,416	264,279	174,004,675	2,232	8,643
	福島県	1,346	550	55,569	4,845	3,607,065	63	162
平成15年	全国	56,329	29,362	1,626,146	105,041	145,392,787	2,254	8,446
	福島県	1,219	531	52,197	3,417	2,779,678	67	170
平成16年	全国	60,394	29,779	1,573,642	156,735	134,915,488	1,993	8,646
	福島県	1,205	509	52,592	4,488	2,837,053	45	155
平成17年	全国	57,487	29,936	1,555,831	110,223	157,576,400	2,197	8,854
	福島県	915	451	42,892	7,563	3,721,132	57	125
平成18年	全国	53,260	29,125	1,385,310	84,280	116,585,589	2,066	8,538
	福島県	959	472	34,756	1,262	2,279,636	56	146
平成19年	全国	54,579	28,630	1,390,379	71,718	125,440,111	2,001	8,471
	福島県	952	440	42,276	2,016	2,829,509	52	138
平成20年	全国	52,394	26,808	1,316,890	84,325	108,681,199	1,967	7,979
	福島県	838	412	43,976	1,133	2,700,770	43	120
平成21年	全国	51,124	25,336	1,223,353	106,276	93,009,679	1,877	7,615
	福島県	882	394	35,745	1,979	2,003,738	47	134
平成22年	全国	46,620	23,865	1,187,415	75,549	101,762,173	1,738	7,305
	福島県	730	386	34,610	1,650	1,438,357	43	141
平成23年	全国	50,006	24,476	126,480	207,093	113,119,204	1,860	7,286
	福島県	851					41	

危険物統計

平成24年度危険物安全週間推進標語

『危険物 めざせ完封 ゼロ災害』

市町別危険物製造所等

(平成24年3月31日現在)

製造所等 市町名	合計	貯 蔵 所							取 扱 所			
		小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所	
伊 達 市	293	178	27	28	4	80	36	3	115	55	60	
	285	174	26	27	4	79	36	2	111	52	59	
	旧伊達町	79	53	7	12	3	20	11		26	14	12
		78	52	7	12	3	19	11		26	14	12
	旧梁川町	90	56	8	10	1	25	12		34	13	21
		88	54	7	9	1	25	12		34	13	21
	旧保原町	79	41	5	4		26	5	1	38	19	19
		75	41	5	4		26	5	1	34	16	18
	旧靈山町	28	19	4	2		3	8	2	9	5	4
		27	18	4	2		3	8	1	9	5	4
	旧月舘町	17	9	3			6			8	4	4
		17	9	3			6			8	4	4
	桑 折 町	62	40	6	5		23	6		22	8	14
		62	40	6	5		23	6		22	8	14
国 見 町	44	26	3	2	1	13	7		18	9	9	
	43	25	3	2	1	13	6		18	9	9	
川 俣 町	84	55	12	7	1	18	14	3	29	10	19	
	82	53	12	7	1	18	14	1	29	10	19	
福島市飯野町	17	4	2			2			13	6	7	
	17	4	2			2			13	6	7	
合 計	500	303	50	42	6	136	63	6	197	88	109	
	489	296	49	41	6	135	62	3	193	85	108	

(注) 下段は、完成検査済証交付施設数

倍数別危険物製造所等(完成検査済証交付施設)

(平成24年3月31日現在)

製造所等 市町名	合計	貯 蔵 所							取 扱 所		
		小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所
5倍以下	244	197	29	13	5	89	58	3	47	2	45
5倍を超え 10倍以下	95	52	15	10	1	25	1		43	2	41
10倍を超え 50倍以下	83	38	4	17		16	1		45	23	22
50倍を超え 100倍以下	26	7	1	1		3	2		19	19	
100倍を超え	41	2				2			39	39	
合計	489	296	49	41	6	135	62	3	193	85	108

容量別屋外タンク貯蔵所(完成検査済証交付施設)

(平成24年3月31日現在)

容量(リットル)	タンク数	割合(%)
10,000未満	11	26.8
10,000以上 20,000未満	15	36.6
20,000以上 30,000未満	5	12.2
30,000以上 40,000未満	4	9.8
40,000以上 50,000未満	3	7.3
50,000以上	3	7.3
合計	41	100

予 防 統 計



平成23年度 伊達地方消防組合消防本部 防火ポスターコンクール最優秀作品

(桑折立醸芳小学校3年 井浦弘貴君の作品です。)

市町別・工事種別同意処理状況

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

市町別	種別									計
	新築	増築	改築	用途変更	移転	大規模模様替	大規模修繕	その他		
伊達市	23	34		1		1				59
桑折町	12	32								44
国見町	11	40								51
川俣町	11	6		2		1				20
福島市飯野町	6									6
計	63	112		3		2				180

市町別・月別同意処理状況

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

市町別	月別												計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
伊達市	3	1	3	11	3	6	7	7	2	3	3	10	59
桑折町		1	4	2	4	5	7	4	2	4	5	6	44
国見町	1	4	5	7	6	4	4	7	1	5	3	4	51
川俣町			2	2	3	4	5	2	1			1	20
福島市飯野町				1		1	2	2					6
計	4	6	14	23	16	20	25	22	6	12	11	21	180

市町別・用途別建築同意処理状況

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

防火対象物		市町別	伊	桑	国	川	飯福	計
			達	折	見	俣	野島	
			市	町	町	町	町市	
(1)	イ	劇場、映画館等						
	ロ	公会堂、集会場	2			2		4
(2)	イ	キャバレー、ナイトクラブ						
	ロ	遊技場、ダンスホール						
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
(3)	イ	待合、料理店の類						
	ロ	飲食店						
(4)		百貨店、マーケット、店舗の類	2					2
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所						
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅						
(6)	イ	病院、診療所、助産所						
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等				1		1
	ハ	老人デイサービスセンター等	4	1		1	1	
	ニ	幼稚園、盲ろう学校の類				1	2	3
(7)		小学校、中学校、高等学校、大学の類	3					3
(8)		図書館、博物館の類	1					1
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類						
	ロ	イ、以外の公衆浴場						
(10)		車両の駐車場の類						
(11)		神社、寺院、教会の類	3		1			4
(12)	イ	工場、作業場	4	1	1	2		8
	ロ	テレビスタジオ等						
(13)	イ	自動車車庫、駐車場		1				1
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫						
(14)		倉庫					1	1
(15)		前各項に該当しない事業場	1	1	6			8
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する複	3			1		4
	ロ	上記以外の複			1			1
住		宅	8	13	12	4	2	39
そ		の	50	32	34	11	1	128
合		計	81	49	55	23	7	215

(注) 1. 複 は、複合用途防火対象物を示す。

2. (1)～(16)までの調査対象は、延べ面積150平方メートル以上。

防 火 対 象 物 施 設 数

(平成24年3月31日現在)

防火対象物		市町別					計	
		伊達市	桑折町	国見町	川俣町	飯福野島町市		
(1)	イ	劇場、映画館等	1			1	2	
	ロ	公会堂、集会場	49	6	6	20	4	85
(2)	イ	キャバレー、ナイトクラブ						
	ロ	遊技場、ダンスホール	5				1	6
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	2					2
(3)	イ	待合、料理店の類	2	3		3	1	9
	ロ	飲食店	15		3	1		19
(4)		百貨店、マーケット、店舗の類	66	14	12	23	6	121
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	12			5	2	19
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	203	28	15	18		264
(6)	イ	病院、診療所、助産所	37	3	2	9	3	54
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	13	5		5	1	24
	ハ	老人デイサービスセンター等	25	5	2	4	3	39
	ニ	幼稚園、盲ろう学校の類	17	6	1	6	1	31
(7)		小学校、中学校、高等学校、大学の類	77	12	9	34	8	140
(8)		図書館、博物館の類	3	1		2		6
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類						
	ロ	イ、以外の公衆浴場						
(10)		車両の駐車場の類	1					1
(11)		神社、寺院、教会の類	37	10	5	4	2	58
(12)	イ	工場、作業場	254	49	34	90	51	478
	ロ	テレビスタジオ等						
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	10	1	1		1	13
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫						
(14)		倉庫	168	34	19	28	14	263
(15)		前各項に該当しない事業場	163	41	53	58	14	329
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	64	7	10	21	4	106
	ロ	上記以外の(複)	21	2		10	5	38
(17)		重要文化財	1	1	1			3
合		計	1,246	228	173	342	121	2,110

(注) 1. (複)は、複合用途防火対象物を示す。

2. 調査対象は、(17)項以外は延べ面積150平方メートル以上。

防火対象物の階層別・面積別調

(平成24年3月31日現在)

		階 層 別							面積別 (㎡)										
		一	二	三	四	五	六	七	計	150	150	300	500	700	1,000	6,000	10,000	計	
		階	階	階	階	階	階	階以上		未満	299	499	699	999	5,999	9,999	以上		
(1)	イ	劇場、映画館等		2					2						2				2
	ロ	公会堂、集会場	50	28	7				85		23	28	12	9	13				85
(2)	イ	キャバレー、ナイトクラブ																	
	ロ	遊技場、ダンスホール	3	3					6		2	2		1	1				6
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等																	
(3)	イ	待合、料理店の類	1	8					9		2	4	1	2					9
	ロ	飲食店	11	6	1	1			19		12	4	2	1					19
(4)		百貨店、マーケット、店舗の類	84	35	2				121		36	23	20	7	33	2			121
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	3	12	3		1		19		3	3	4	5	4				19
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	3	193	45	9	14		264		132	65	20	12	35				264
(6)	イ	病院、診療所、助産所	17	28	2	4	2	1	54		18	14	6	4	9	1	2		54
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	8	13	3				24		2	2	3	1	15		1		24
	ハ	老人デイサービスセンター等	26	12	1				39		10	9	8	9	3				39
(7)	イ	小学校、中学校、高等学校、大学の類	60	37	35	8			140		10	16	17	23	66	5	3		140
	ロ	図書館、博物館の類	2	4					6			3	1		2				6
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類																	
	ロ	イ、以外の公衆浴場																	
(10)		車両の駐車場の類	1						1		1								1
(11)		神社、寺院、教会の類	26	32					58		11	24	14	8	1				58
(12)	イ	工場、作業場	259	212	7				478		79	102	65	75	135	9	13		478
	ロ	テレビスタジオ等																	
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	11	2					13		9	3	1						13
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫																	
(14)		倉庫	194	65	4				263		78	70	35	37	40	3			263
(15)		前各項に該当しない事業場	125	160	37	3	3	1	329		70	99	54	35	69	2			329
(16)	イ	(1)~(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する複	22	53	24	5	1	1	106		22	36	19	11	17	1			106
	ロ	上記以外の複	4	26	7			1	38		7	14	12	2	3				38
(17)		重要文化財	1	1	1				3	1			2						3
合 計			939	937	179	30	21	3	1	2110	1	536	536	302	244	449	23	19	2110

(注) 1. 複 は、複合用途防火対象物を示す。
 2. 調査対象は、(17)項以外は延べ面積150平方メートル以上。

甲種防火対象物防火管理者選任届出状況

(平成24年3月31日現在)

区分		伊達市		桑折町		国見町		川俣町		飯野島市		計	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
(1)	イ 劇場、映画館等							1	1			1	1
	ロ 公会堂、集会場	43	42	5	5	2	1	8	8	1		59	56
(2)	イ キャバレー、ナイトクラブ												
	ロ 遊技場、ダンスホール	3	3							1	1	4	4
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等												
	ニ カラオケボックス等	2	2									2	2
(3)	イ 待合、料理店の類	1	1	2	2			1	1	1	1	5	5
	ロ 飲食店	5	3	1	1							6	4
(4)	百貨店、マーケット、店舗の類	43	37	7	6	8	7	18	18	2	2	78	70
(5)	イ 旅館、ホテル、宿泊所	9	9					3	3	1	1	13	13
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	12	11	1	1	1	1	3	1			17	14
(6)	イ 病院、診療所、助産所	10	10			1	1	1	1	2	2	14	14
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム等	8	8	5	5			4	4	1	1	18	18
	ハ 老人デイサービスセンター等	16	16	3	3	1	1	3	3	2	2	25	25
	ニ 幼稚園、盲ろう学校の類	11	11	3	3	2	2	3	3	1	1	20	20
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類	29	27	6	6	4	4	9	9	4	4	52	50
(8)	図書館、博物館の類	2	2					1	1			3	3
(9)	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類												
	ロ イ、以外の公衆浴場												
(10)	車両の駐車場の類												
(11)	神社、寺院、教会の類	13	11	2	2	1	1			1		17	14
(12)	イ 工場、作業場	29	28	8	8	5	4	9	8	2	2	53	50
	ロ テレビスタジオ等												
(13)	イ 自動車車庫、駐車場												
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫												
(14)	倉庫	2	2	1	1							3	3
(15)	前各項に該当しない事業場	39	39	5	5	5	5	5	5	3	2	57	56
(16)	イ (1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	42	31	2	2	9	9	8	6	3	3	64	51
	ロ 上記以外の(複)	5	5	1	1							6	6
(17)	重要文化財												
合 計		324	298	52	51	39	36	77	72	25	22	517	479

(注) 1. (複)は、複合用途防火対象物を示す。

2. Aは選任を必要とする対象物数、Bは選任している対象物数。

乙種防火対象物防火管理者選任届出状況

(平成24年3月31日現在)

区分 防火対象物		伊達市		桑折町		国見町		川俣町		飯福島市		計	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
(1)	イ 劇場、映画館等												
	ロ 公会堂、集会場	3	3			3	1	10	9	3	3	19	16
(2)	イ キャバレー、ナイトクラブ												
	ロ 遊技場、ダンスホール	1	1									1	1
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等												
	ニ カラオケボックス等												
(3)	イ 待合、料理店の類							1	1			1	1
	ロ 飲食店	12	9			1	1	1	1			14	11
(4)	百貨店、マーケット、店舗の類	3	3	1	1			1	1	1		6	5
(5)	イ 旅館、ホテル、宿泊所												
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅												
(6)	イ 病院、診療所、助産所												
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム等												
	ハ 老人デイサービスセンター等	1	1			1	1					2	2
	ニ 幼稚園、盲ろう学校の類			1	1							1	1
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類												
(8)	図書館、博物館の類							1	1			1	1
(9)	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類												
	ロ イ、以外の公衆浴場												
(10)	車両の駐車場の類												
(11)	神社、寺院、教会の類			3	3	1	1	1				5	4
(12)	イ 工場、作業場												
	ロ テレビスタジオ等												
(13)	イ 自動車車庫、駐車場												
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫												
(14)	倉庫												
(15)	前各項に該当しない事業場	2	2	1	1			6	6			9	9
(16)	イ (1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	3	1					2	2			5	3
	ロ 上記以外の(複)							1	1			1	1
(17)	重要文化財												
合 計		25	20	6	6	6	4	24	22	4	3	65	55

(注) 1. (複)は、複合用途防火対象物を示す。

2. Aは選任を必要とする対象物数、Bは選任している対象物数。

防火対象物立入検査実施状況

(平成24年3月31日現在)

防火対象物		伊達市		桑折町		国見町		川俣町		飯野島町市		計	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
(1)	イ 劇場、映画館等	1	1					1				2	1
	ロ 公会堂、集会場	49	37	6	1	6	2	20	3	4	1	85	44
(2)	イ キャバレー、ナイトクラブ												
	ロ 遊技場、ダンスホール	5	3							1	1	6	4
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等												
	ニ カラオケボックス等	2										2	
(3)	イ 待合、料理店の類	2	1	3				3	2	1		9	3
	ロ 飲食店	15	4			3	2	1				19	6
(4)	百貨店、マーケット、店舗の類	66	48	14	4	12	4	23	18	6	1	121	75
(5)	イ 旅館、ホテル、宿泊所	12	7					5	4	2	2	19	13
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	203	27	28	1	15		18	1			264	29
(6)	イ 病院、診療所、助産所	37	15	3		2	1	9	1	3	2	54	19
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム	13	12	5	1			5	6	1	1	24	20
	ハ 老人デイサービスセンター等	25	14	5		2		4	2	3	1	39	17
	ニ 幼稚園、盲ろう学校の類	17	8	6	5	1	1	6	2	1	1	31	17
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類	77	64	12		9	6	34	26	8	8	140	104
(8)	図書館、博物館の類	3	3	1				2				6	3
(9)	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類												
	ロ イ、以外の公衆浴場												
(10)	車両の駐車場の類	1										1	
(11)	神社、寺院、教会の類	37	20	10	5	5	3	4	4	2	2	58	34
(12)	イ 工場、作業場	254	149	49	16	34	14	90	47	51	20	478	246
	ロ テレビスタジオ等												
(13)	イ 自動車車庫、駐車場	10	7	1		1				1		13	7
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫												
(14)	倉庫	168	99	34	5	19	5	28	19	14	10	263	138
(15)	前各項に該当しない事業場	163	85	41	9	53	8	58	7	14	7	329	116
(16)	イ (1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	64	26	7	5	10	4	21	6	4	2	106	43
	ロ 上記以外の(複)	21	8	2				10	3	5		38	11
(17)	重要文化財	1	1	1		1	1					3	2
合 計		1,246	639	228	52	173	51	342	151	121	59	2,110	952

(注) 1. Aは防火対象物数、Bは立入検査実施数。
 2. 調査対象は、(17)項以外は延べ面積150平方メートル以上。

消防用設備等の届出・検査済証件数

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

区分	設備名		消	屋	ス	ハ	粉	屋	動	自	漏	消	非	非	避	誘	消	連	連
	計	火	火	内	プ	ロ	末	外	力	動	電	防	常	常	難	導	防	結	結
		器	栓	ク	ゲ	消	消	火	消	火	火	機	警	警	器	灯	用	散	送
		備	設	ラ	ン	火	火	栓	防	災	災	関	報	報	具	・	水	水	水
		備	備	ー	ク	設	設	設	報	報	通	知	設	備	識	備	設	設	管
		備	備	設	ラ	設	設	設	報	報	報	知	設	備	識	備	設	設	管
着工届出	73		14	6		2	2		42		1		4	1	1				
設置届出	194	31	20	7		2	2		69		4	1	19	4	35				
検査済証	193	31	20	7		2	2		68		4	1	19	4	35				

火災予防条例等に基づく届出状況

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

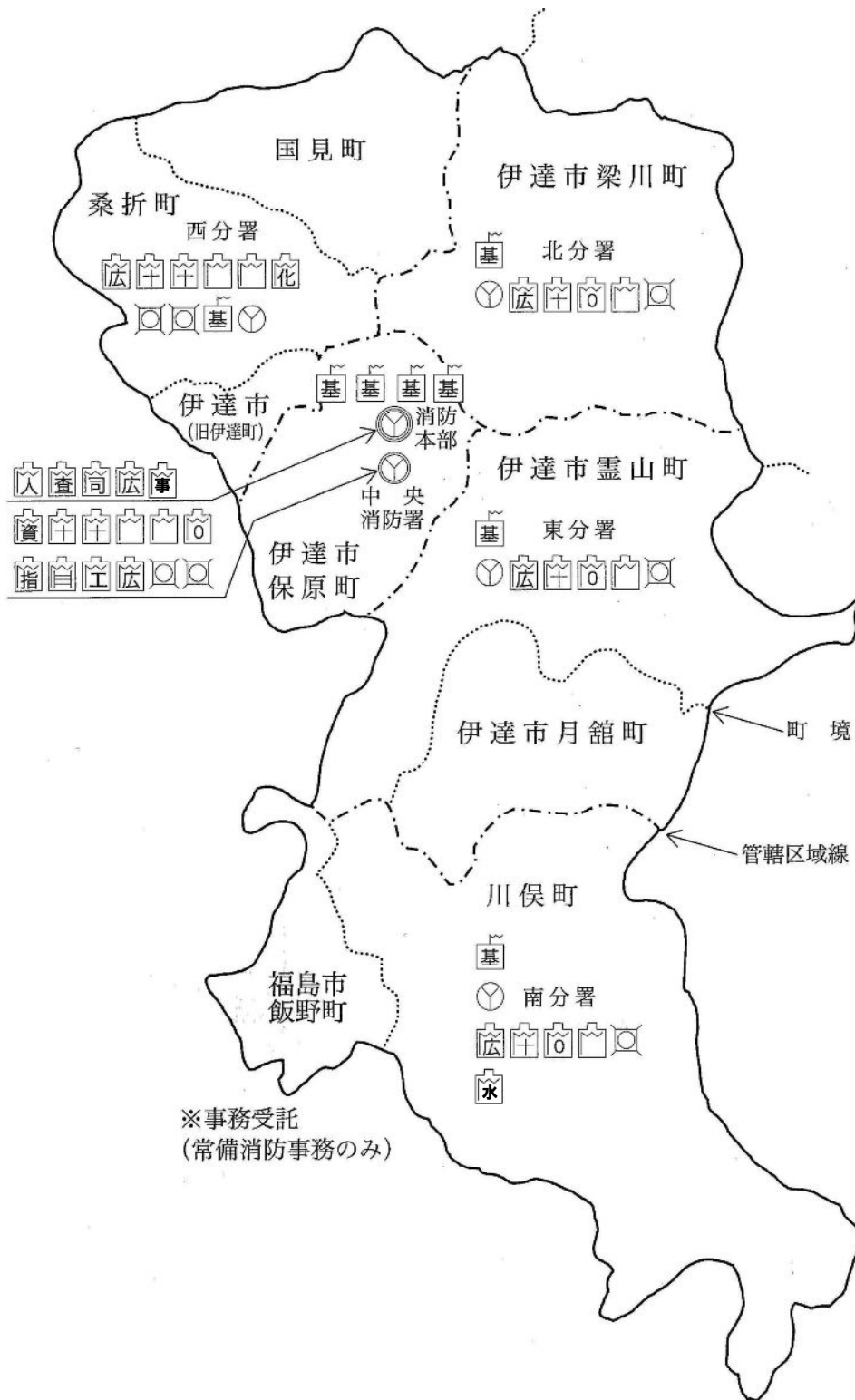
事項		所属					
		中央	東	西	南	北	計
施行規則	消 防 計 画	46	17	40	46	25	174
危 政 令	圧 縮 ア セ チ レ ン	1			1		2
	無 水 硫 酸						
	液 化 石 油 ガ ス	4		1	10	5	20
	生 石 灰						
	毒 物						
	劇 物						
火災予防条例							
使 用 開 始		17	3	12	36	5	73
	炉	2					2
	厨 房 設 備						
	温 風 暖 房 機						
	ポ イ ラ ー	1		3	3	2	9
	給 湯 設 備						
	乾 燥 設 備			1			1
	サ ウ ナ			1			1
	ヒ ー ト ポ ン プ 冷 暖 房 機	1					1
	火 花 を 生 ず る 設 備						
	放 電 加 工 機						
	変 電 設 備	6	2	5	3	5	21
	発 電 設 備	2			3		5
	蓄 電 池 設 備		1	10	4	2	17
	燃 料 電 池 発 電 設 備						
	ネ オ ン 管						
	水 素 気 球						
	ま ぎ ら わ し い 煙	154	47	183	62	123	569
	煙 火 打 上 げ	17	24	38	82	65	226
	催 物		1		50		51
	断 減 水		13		1	2	16
	道 路 工 事	207	34	131	18	44	434
	指 定 洞 道 等						
	少 量 危 険 物	11	2	6	17	10	46
	指 定 可 燃 物				1		1
	タ ン ク 水 張 検 査						
	計	469	144	431	337	288	1,669

警 防



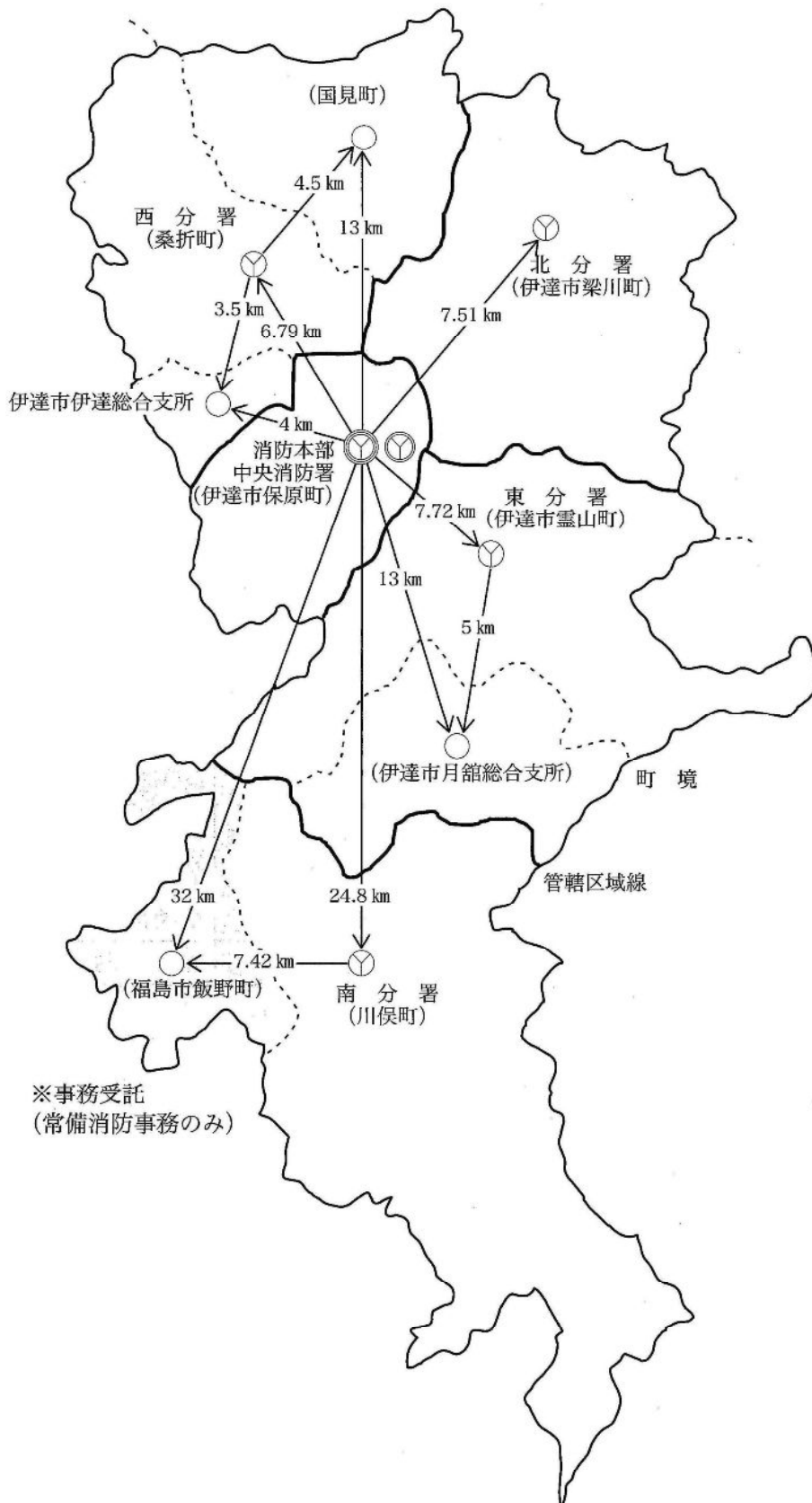
伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)及び消防機械配置図

(平成 24 年 4 月 1 日現在)



凡 例	
	消防本部
	消防署
	分署
	無線基地局
	消防ポンプ自動車 (無線付)
	はしご付消防自動車 (無線付)
	化学消防自動車 (無線付)
	水槽付消防ポンプ 自動車(無線付)
	救助工作車 (無線付)
	救急自動車 (無線付)
	司令車 (無線付)
	査察車 (無線付)
	広報連絡車 (無線付)
	人員資器材搬送車 (無線付)
	指揮兼照明車 (無線付)
	資機材搬送車 (無線付)
	小型動力ポンプ
	事務連絡車 (無線付)
	小型動力ポンプ付 水槽車(無線付)

消防本部(中央消防署)から分署・各市町間の距離



※事務受託
(常備消防事務のみ)

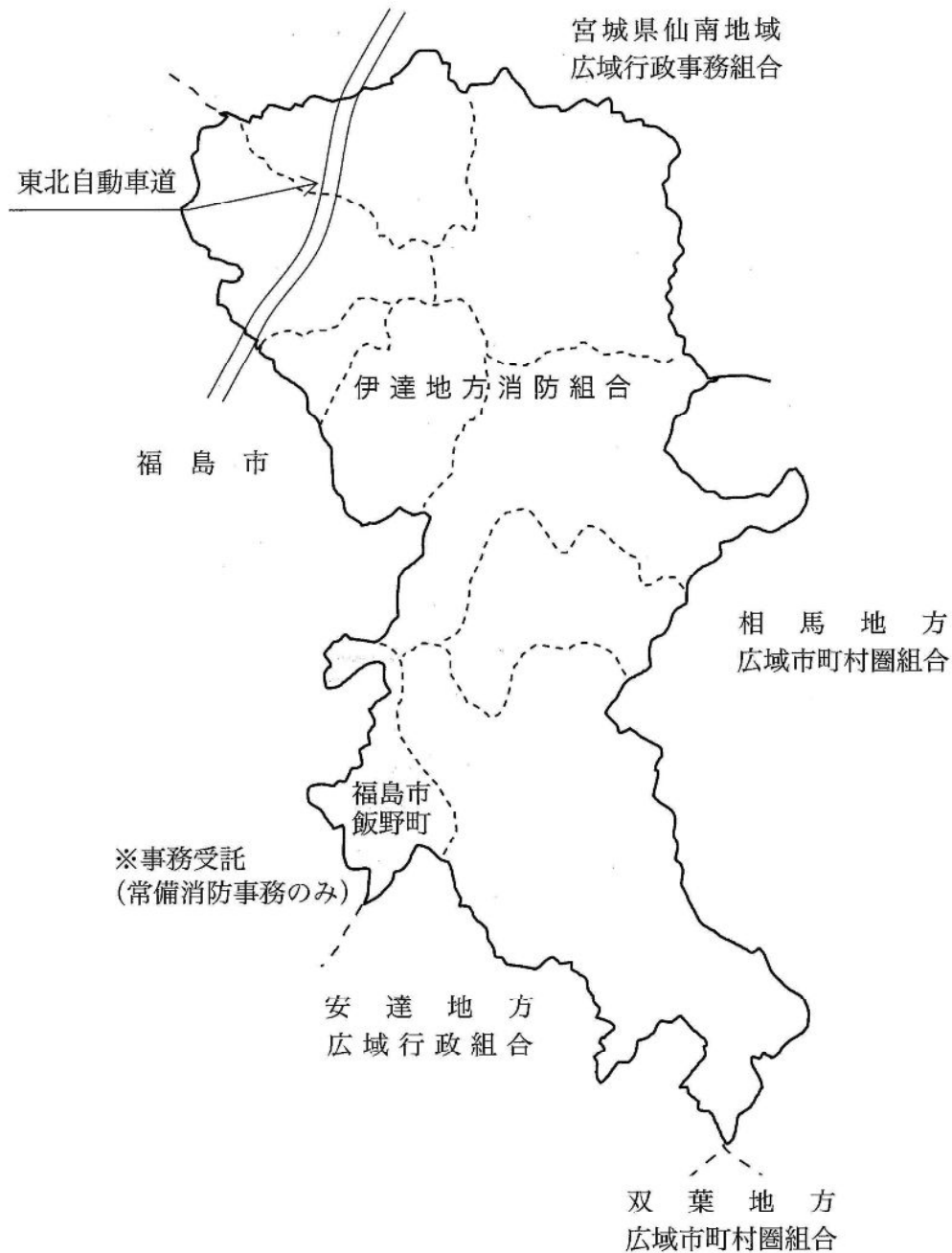
	分署	距離
(中央消防署) 消防本部	東分署	7.72km
	西分署	6.79km
	南分署	24.80km
	北分署	7.51km

凡 例	
	消防本部
	消防署
	分署
	町境
	管轄区域線

相 互 応 援 協 定

(火災・救急その他災害相互応援協定)

市町村等名	締結年月日	相互応援協定の内容
福 島 市	昭和 48 年 9 月 30 日	火災・救急・その他の災害
相馬地方広域市町村圏組合	昭和 48 年 9 月 1 日	〃
安達地方広域行政組合	昭和 49 年 2 月 1 日	〃
宮城県仙南地域広域行政事務組合	昭和 50 年 4 月 1 日	〃 (東北自動車道を含む。)
双葉地方広域市町村圏組合	昭和 58 年 9 月 1 日	〃
東北自動車道 1 市 5 組合	平成 2 年 4 月 1 日	東北自動車道上の火災・救急その他の災害
福島県広域消防相互応援協定	平成 9 年 12 月 26 日	福島県内 12 消防本部 大規模特殊災害
火災原因調査に係る相互応援協定	平成 11 年 12 月 27 日	福島県内 12 消防本部 火災原因調査



現 勢 消 防 力 調

(平成24年4月1日現在)

面 積	494.94	消	消 防 ポ ン プ 自 動 車	7	消	機	団 本 部	4
			水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	4			分 団 数	39
人 口	101,490	防	は し ご 付 消 防 自 動 車	1	防	構	団 員 数	2473
			化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1			消 防 ポ ン プ 自 動 車	35
世 帯 数	33,037	防	小 型 動 力 ポ ン プ	8	防	機	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1
			救 助 工 作 車	1			小 型 動 力 ポ ン プ	137
消 防 機 構	消 防 本 部	1	高 規 格 救 急 自 動 車	4	防	機	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	129
	消 防 署	1	救 急 車	3			司 令 車	1
消 防 機 構	分 署	4	査 察 車	1	防	機		
	人 員	155	広 報 連 絡 車 (防 火 広 報 車)	6			小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車	1
			人 員 資 器 材 搬 送 車	1	防	機		
			事 務 連 絡 車	1			指 揮 兼 照 明 車	1
			資 機 材 搬 送 車	1	団	械		

消 防 水 利 現 状 調

(平成24年4月1日現在)

区分 町別	防 火 水 そ う			消 火 栓	そ の 他	合 計
	20㎡	40㎡	60㎡			
伊 達 市	251	322	26	968	97	1,664
桑 折 町	42	99		194		335
国 見 町	61	50	8	134	5	258
川 俣 町	130	18		149		297
合 計	484	489	34	1,445	102	2,554

消防車両等の現勢調

(平成24年4月1日現在)

所属区分	種別	車両番号	車名	年式	総排気量(cc)	ポンプ種別		購入年月日	経過年数
						ポンプ型式	級別		
消防本部	司令車	す 4881	スバル レガシィB4	21	1,990			21. 2.20	3.2
	査察車	に 613	トヨタ カルディナバン	9	1,490			9. 6.23	15.10
	人員資器材搬送車	さ 6988	トヨタ ハイエースコムーター	14	2,980			14. 2. 6	10.2
	事務連絡車	ち 3469	ホンダ トゥデイ	8	650			8.12.25	15.4
	防火広報車	す 3759	トヨタ ハイエースバン	19	2,490			19. 8.30	4.8
消防中央部	救急自動車	す 5429	トヨタ ハイメディック	21	2,690			21.12.16	2.4
	広報連絡車	に 218	トヨタ カルディナバン	8	1,490			8. 9.20	15.7
	救急自動車	す 9314	トヨタ ハイメディック	9	3,370			9.12.18	14.4
	消防ポンプ自動車	す 3894	いすゞ エルフ	6	3,630	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	6. 3.10	18.1
	消防ポンプ自動車	す 6952	いすゞ エルフ	24	2,990	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	24.2.14	0.2
	水槽付消防ポンプ自動車	は 829	日野 レンジャー	24	6,400	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	24.2.14	0.2
	救助工作車	は 121	いすゞ フォワード	13	8,220			13. 1.10	11.3
	はしご付消防自動車	は 764	日野 プロフィア	23	8,860			23. 3. 8	1.1
	指揮兼照明車	す 1975	トヨタ ハイエースバン	17	2,490			17.10.31	6.6
	資機材搬送車	す 5430	トヨタ ダイナ	21	4,000			21.12.16	2.4
消防署	小型動力ポンプ		シバウラ TF516SH	17	182	シバウラ 1段タービン	C-1	17. 5.19	6.11
	小型動力ポンプ		シバウラ TF15SE	61	182	シバウラ 1段タービン	C-1	61. 7. 9	25.9
	小型動力ポンプ		シバウラ TF15SE	61	182	シバウラ 1段タービン	C-1	61. 2.24	26.2
	小型動力ポンプ		トーハツ VF21A	24	209	トーハツ 片吸込1段タービンポンプ	C-1	24.2.14	0.2
	林野火災高圧ポンプ		クライスラー PL80614	53	134	クライスラー		53. 3.23	34.1

所属区分	種別	車両番号	車名	年式	総排気量(cc)	ポンプ種別		購入年月日	経過年数
						ポンプ型式	級別		
東 分 署	広報連絡車	に 217	トヨタ カルディナバン	8	1,490			8.9.20	15.7
	救急自動車	さ 6629	トヨタ アンビュランス	13	3,370			13.11.14	10.5
	消防ポンプ自動車	す 4875	いすゞ エルフ	21	2,990	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	21.2.17	3.2
	水槽付消防ポンプ自動車	せ 1318	いすゞ フォワード	10	8,220	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	10.10.28	13.6
	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	21	198	片吸込 1段タービンポンプ	C-1	21.2.17	3.2
西 分 署	広報連絡車	さ 6618	ニッサン ADバン	13	1,490			13.11.12	10.5
	救急自動車	す 7063	トヨタ ハイメディック	24	2,690			24.3.28	0.1
	救急自動車	さ 8676	トヨタ アンビュランス	15	3,370			15.3.26	9.1
	消防ポンプ自動車	す 3895	いすゞ エルフ	6	3,630	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	6.3.10	18.1
	消防ポンプ自動車	す 7235	いすゞ エルフ	8	4,570	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	8.10.14	15.6
	化学消防ポンプ自動車	は 38	いすゞ フォワード	11	8,220	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	11.11.29	12.5
	小型動力ポンプ		シバウラ TF15SE	61	166	シバウラ 1段タービン	C-1	61.2.24	25.2
	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	21	198	片吸込 1段タービンポンプ	C-1	21.8.17	2.8
南 分 署	広報連絡車	に 1273	トヨタ カルディナバン	11	1,490			11.3.30	13.1
	救急自動車	す 3989	トヨタ ハイメディック	19	2,690			19.12.17	4.4
	消防ポンプ自動車	す 7234	いすゞ エルフ	8	4,570	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	8.10.14	15.6
	水槽付消防ポンプ自動車	す 5722	いすゞ フォワード	7	8,220	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	7.9.26	16.7
	小型動力ポンプ付水槽車	は 860	三菱ふそう	8	11.94	トーハツ 1段タービン	B-2	24.3.29	16.2
	小型動力ポンプ		シバウラ TF516SH	20	182	シバウラ 1段タービン	C-1	20.10.24	3.6
北 分 署	広報連絡車	す 1976	ニッサン ADバン	17	1,490			17.10.31	6.6
	救急自動車	さ 6628	トヨタ アンビュランス	13	3,370			13.11.14	10.5
	消防ポンプ自動車	す 5528	いすゞ エルフ	22	2,990	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	22.2.4	2.2
	水槽付消防ポンプ自動車	は 678	いすゞ フォワード	21	5,190	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	21.2.25	3.2
	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	22	198	片吸込 1段タービンポンプ	C-1	22.2.4	2.2

無線局配置状況調

(平成24年4月1日現在)

署所別	局別 基地局	超 短 波						
		移 動 局			携 帯 局			
		種 別	台	呼 出	台	呼	出	
消 防 本 部		司 令 車	1	だてしょうしれい	1	9	101 102 103 104 105	106 107 108 109
		査 察 車	1	"	2			
		人 員 資 器 材 搬 送 車	1	"	3			
		指 揮 広 報 車	1	"	4			
		防 火 広 報 車	1	"	5			
中 央 消 防 署	第1 第2 第3 第4	救 急 自 動 車	2	だてきゅうきゅう	1	19	111 112 113 114 115 116 117 118 119 120	121 122 123 124 125 126 127 201 202
		広 報 連 絡 車	1	だてしょうちゅうおう	11			
		救 急 自 動 車	1	"	12			
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	13			
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	14			
		水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	15			
		救 助 工 作 車	1	"	16			
		は し ご 付 消 防 自 動 車	1	"	17			
		指 揮 兼 照 明 車	1	"	18			
資 機 材 搬 送 車	1	"	19					
東 分 署	第1	広 報 連 絡 車	1	だてしょうひがし	31	7	131 132 133 134 135 136	137
		救 急 自 動 車	1	"	32			
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	33			
		水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	34			
西 分 署	第1	広 報 連 絡 車	1	だてしょうにし	41	8	141 142 143 144 145 146 147 148	
		救 急 自 動 車	1	"	42			
		救 急 自 動 車	1	"	43			
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	44			
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	45			
		化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	46			
南 分 署	第1	広 報 連 絡 車	1	だてしょうみなみ	51	5	152 153 154 155 156	
		救 急 自 動 車	1	"	52			
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	53			
		水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	54			
		小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車	1	だてすいそう	1			
北 分 署	第1	広 報 連 絡 車	1	だてしょうきた	61	6	161 162 163 164 165 166	
		救 急 自 動 車	1	"	62			
		消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	63			
		水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1	"	64			
合 計	8		35			54		

(注)基地局 第1 活動波(市町村波)
 第2 救急波
 第3 全国波
 第4 県内共通波

消防機器材の現有状況

(平成24年4月1日現在)

種別	区分	区分							性能・型式	
		合計	本部	中央	東	西	南	北		
警	中継用布水槽	5		1	1	1	1	1	マリーンA500	
	放水銃座	5		1	1	1	1	1	TSWG1.3型	
	背負い式散放水器	88		23	18	21	16	10	181型	
	簡易発泡器	5		1	1	1	1	1		
	ロータリー管そう	13		4	2	3	2	2		
	消火栓立上媒介金具	17		5	3	4	3	2		
	二又分岐金具	12		3	2	3	2	2		
	三連梯子	13		5	2	2	2	2		
	二連梯子	8		3	1	2	1	1		
	平梯子	6		2	1	1	1	1	カギ付	
	大かぎ付単梯子	2		2					KHFL-31	
	エンジンカッター	5		1	1	1	1	1	パートナー、K-12D	
	ボルトカッター	15	2	4	2	3	2	2	10m/m、5m/m	
	携帯投光器	8		4	1	1	1	1		
	空気呼吸器	74		39	6	15	8	6	ライフゼム	
	酸素呼吸器	5		5					"	
	空気ボンベ	200		160	10	10	10	10		
	耐熱服	13		7	2	0	2	2	4型	
	防	トランジスターメガホン	25	3	14	2	2	2	2	
		ホースブリッジ	25		9	4	4	4	4	50・60mm兼用型S-330-W
東消式フォグガン		10		2	2	2	2	2	T-200	
オイルフェンス		15		3	3	3	3	3	10m	
携帯発電機		28	1	15	3	4	3	2	ホンダ等	
耐電・絶縁用具一式		9	1	8						
林野火災用高圧ポンプ		1		1					ウォータールート350NS一式	
訓練用人形		2		2					ダミー	
泡ノズル		6		1	1	2	1	1	ピックアップ式RP-200	
エアートナー式		1		1					アキレスA-45	
救	心肺蘇生用訓練器	9		9					レールダル社	
	心肺蘇生用背板	8		2	1	2	2	1		
	電池式呼吸器	8		2	1	2	2	1	レールダル社	
	酸素ボンベ	145		125	4	8	4	4		
	保安点滅灯	10	2	3	1	2	1	1	電池式	
	夜光安全チョッキ	50	4	12	4	18	8	4		
	血圧計	14		4	2	3	3	2	アナロイド型血圧計大人用ポケット型	
	シヨックパンツ	8		2	1	2	2	1	米国デービットクラーク社製	
	喉頭鏡	14		4	2	3	3	2	マッキントッシュ型	
	異物除去用鉗子	9		3	1	2	2	1	マギール鉗子	
急	気道管理トレーナ	5		1	1	1	1	1	レールダル社製	
	自動式心マッサージ器	3		2		1			サンパー心肺蘇生装置	
	救急車室内紫外線殺菌装置	1		1						
	血中酸素飽和濃度測定器	12		2	2	3	3	2	ネルコア N-20 P	
	AED トレーナ	11		11						

種別	区分	合計	本部	中央	東	西	南	北	性能・型式	
救	バ ッ ク ボ ー ト	9		3	1	2	2	1		
	ガ ス 滅 菌 器	1		1						
	人 工 蘇 生 器	12		3	2	3	2	2		
	リ ン グ カ ッ タ ー	6		1	1	2	1	1		
	心 電 計	5		1	1	1	1	1		
	除 細 動 器	12		2	2	3	3	2		
	輸 液 セ ッ ト	5		1	1	1	1	1		
	気 道 確 保 チ ュ ー ブ	5		1	1	1	1	1		
	タ ー ポ リ ン 担 架	14		2	2	4	4	2		
	高度救急処置シミュレーター	1		1						
急	輸 液 訓 練 用 モ デ ル	5		1	1	1	1	1		
	殺 菌 ロ ッ カ ー	5		1	1	1	1	1		
	救 急 技 術 教 育 ビ デ オ	1		1					一式	
	特 定 行 為 専 用 バ ッ ク セ ッ ト	2		1		1				
救	防 爆 型 携 帯 電 灯	6		6					JL 05104	
	空 気 式 救 助 マ ッ ト	1		1					ソフトランディング、SL-40	
	レ ン ジ ャ ー 担 架	6		4		1	1		平、舟型、T I スプリット、スケッド	
	簡 易 担 架	18	2	3	3	3	4	3		
	救 命 索 発 射 銃	2		2					ミクロM-3	
	救 命 索 発 射 装 置	2		2					レスキューショット	
	空 気 式 救 助 バ ッ グ	4		4					マイティーバック一式	
	安 全 マ ッ ト	2		2						
	安 全 ネ ッ ト	1		1					DR式	
	張 力 計	3		3					YR-100	
	柱 上 安 全 帯	6		6					73D、R455、R425、5B	
	大 型 油 圧 救 助 器 具	1		1					ルーカス	
	充 電 式 油 圧 救 助 器 具	2		2					オグラ	
	チ ェ ー ン ブ ロ ッ ク	1		1					3t	
	チ ル ホ ー ル	7		6			1		T-7、TU-16、T-35	
	チ ェ ー ン ソ ー	7		3	1	1	1	1	マッカラー、スチール	
	エ ア ソ ー	2		2					タイガー	
	携 帯 用 エ ア ツ ー ル	2		2					Aセット、Bセット	
	ガ ス 遮 断 機	1		1					ニューチョパック	
	ポ ー ト パ ワ ー	2				2				
	削 岩 機	1		1					ピコ14	
	フ ァ イ バ ー ス コ ー プ	2		2					カールシーカーMY-400	
	救 助 用 ポ ー ト	2		2					アキレスSU-14、アキレスSE365	
	救 助 ポ ー ト 用 船 外 機	2		2					ホンダBF9.9AMLJ、ヤマハ20CM	
	助	救 命 胴 衣	61		25	9	9	9	9	KSK1~3、ライフジャケット
		救 命 浮 環	18		4	3	4	4	3	
		か ぎ 付 は し ご	1		1					KHFL-CT
ワ イ ヤ ー は し ご		1		1					ケーピングラダー-11m	
マンホール救助器具		1		1					ロールグリスMR-110	
携帯用コンクリート破壊器具		1		1					ストライカーTR-800	
防 毒 マ ス ク		5		5					GM-164有機缶付き	
携 帯 警 報 器		10		10					レスキューコール	
放 射 線 防 護 服		3		3					NUK-500	

種別	区分	区分							性能・型式
		合計	本部	中央	東	西	南	北	
救	放射線測定器(空間線量計)	13	4	5	1	1	1	1	NHE20CY3-131BY-S
	放射線測定器(表面汚染検査計)	3	3						RDS-80
	個人線量計	106	54	18	8	9	9	8	DOSE-
	吊り上げ救助器具	1		1					4ポイントブラインドルー式
	送排風機	1		1					RFE-282Y
	防塵マスク	5		5					DR-165-6
	帯電服	5		5					YS-121
	帯電ズボン	5		5					YS122
	防毒衣	3		3					RS-11000
	緩降機	1		1					スローダウン20m
助	ロープ登降機	3		3					ASCENSION B07R
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1		1					CT101 CB
予	煙体験用資器材	2	1	1					体験ハウス、発煙機、発電機
	映写機	3	2	1					ホクシン16m/m・液晶VIP400
	投影機	3	3						プラス。OHP CX-500
	ビデオ装置	6	1	1	1	1	1	1	NV-H230G
	カメラ	12	2	2	2	2	2	2	
	インスタントカメラ	7	1	2	1	1	1	1	F-50 S
	テープレコーダー	11	1	2	2	2	2	2	
	自記温湿度計	1		1					シグマ型
	スクリーン	3	1	2					プラスKSV-80
	映画フィルム	27	27						
防	騒音計	1	1						OS-11
	電子テスター	1	1						日置
	漏電遮断機テスター	2	2						"
	自動接地抵抗計	1	1						ナショナル
	ガス検知器	7	1	1	1	2	1	1	XP305・他に北側式(5)
	放水圧力測定器	3	3						40用E-1、65用E-2
	引火点試験器	2	2						タグ密閉式、クリープライト*開放式
	膜厚計	3	3						SL-F20型・SM-1500 D
	加熱試験器	1	1						HK3
	メジャーポール	5		1	1	1	1	1	8段6m
そ	訓練用水消火器	51		15	9	9	9	9	
	エアークンプレッサー	5		1	1	1	1	1	
	ガレージジャッキ	6		2	1	1	1	1	10t、5t、3t
	サビスキット	5		1	1	1	1	1	
	リジットラック	10		2	2	2	2	2	5t用
	洗車機	5		1	1	1	1	1	
	エアインパクトレンチ	1		1					空研KW-14HP
	電気ドリル	1		1					
	電気ディスクグラインダー	1		1					
	電気丸のこ	1		1					
の	コンビネーションガス測定器	7		7					
	空気充填用コンプレッサー	1		1					AVC14型
	充電器	6		1	1	1	1	2	
	エアークラスセット	1		1					いわたW71-3S
	エレクトロツールセット	7	1	2	1	1	1	1	宝山S-10

救 助 統 計



事故種別出場件数活動件数調

(平成23年中)

件数区分	事故種別		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	計
	火	災									
	建物	建物 以外									
出 場 件 数	1		68	1	2	4	1	1		17	95
活 動 件 数	1		16		2	3	1			6	29

(注) 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別車両別救出者搬送人員調

(平成23年中)

件数区分	事故種別		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	計
	火	災									
	建物	建物 以外									
救 急 自 動 車			15			2				4	21
消防機関のその他の車両 等											
消防機関以外の車両等 (ドクターヘリ等)			2			1				1	4
計			17			3				5	25

(注) 1 本表は、事故種別ごとに、救出者の搬送方法を記載する。

2 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別出場人員活動人員調

(平成23年中)

事故種別 件数区分		火 災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	計	
		建物	建物 以外										
出 場 人 員	専任救急隊員												
	兼任救助隊員	5		275	4	4	18	4	4		56	370	
	消 防 隊 員	20		129	6	4	22		4		31	216	
	救 急 隊 員			265	3		14		3		46	331	
	消 防 団 員												
	計	25		669	13	8	54	4	11			133	917
活 動 人 員	専任救急隊員												
	兼任救助隊員	5		60		4	14	4			22	109	
	消 防 隊 員	20		45		4	19				13	101	
	救 急 隊 員			58			11				17	86	
	消 防 団 員												
	計	25		163		8	44	4				52	296

(注) 1. 本表は、事故種別ごとに、救助活動のために出場した人員及び活動した人員を記載する。
 2. 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別出場車両及び活動車両等台数調

(平成 23 年中)

事故種別 件数区分		火災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外									
出 場 車 両 等	救 助 工 作 車	1 (1)		67 (14)	1	1 (1)	4 (3)	1 (1)	1		14 (5)	90 (25)
	ポ ン プ 自 動 車	5 (5)		22 (9)	2	1 (1)	3 (3)				6 (3)	39 (21)
	屈折はしご車・はしご車											
	化 学 車			16 (4)			2 (1)		1		1	20 (5)
	指 揮 車 ・ 司 令 車	1 (1)		2 (2)							2 (1)	5 (4)
	救 急 車			85 (18)	1		4 (3)		1		14 (5)	105 (26)
	船 舶											
	ヘリコプター											
	そ の 他			2 (1)			3 (3)				1	6 (4)
消 防 団 車 両												
計		7 (7)		194 (48)	4	2 (2)	16 (13)	1 (1)	3		38 (14)	265 (85)

(注) 1 本表は、事故種別ごとに、救助活動のために出場した車両等のうち実際に活動した車両等の台数について記載する。

2 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

3 ()は、活動車両

事故種別発生場所別出場件数及び活動件数調

(平成 23 年中)

事故種別 件数区分		火災		交通 事故	水難 事故	風水 害等 自然 災害	機 械 による 事故	建物 等による 事故	ガス及 び酸 欠事 故	爆発 事故	その 他の 事故	計
		建物	建物 以外									
屋 内	住 居	1 (1)				1 (1)		1 (1)	1		5 (1)	9 (4)
	そ の 他 の 屋 内					1 (1)	1				2	4 (1)
屋 外	道 路	高 速 道 路		12 (3)								12 (3)
		そ の 他 の 道 路		52 (9)							2 (1)	54 (10)
	水 面	内 水 面				1					1	2
		外 水 面										
	山 岳											
	そ の 他 の 屋 外			4 (4)			3 (3)				7 (4)	14 (11)
地 下												
そ の 他												
計		1 (1)		68 (16)	1	2 (2)	4 (3)	1 (1)	1		17 (6)	95 (29)

(注)1 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

2 ()は、活動件数

事故種別発生場所別救助人員調

(平成23年中)

事故種別 件数区分		火災		交通 事故	水難 事故	風水 害等 自然 災害	機械 による 事故	建物 等による 事故	ガス及 び酸 欠事 故	爆発 事故	その他 の事 故	計
		建物	建物 以外									
屋 内	住居	1				3		1			1	6
	その他の屋内					6						6
屋 外	道 路	高速道路 国道			3							3
		その他の道路			10						1	11
	水 面	内水面										
		外水面										
	山岳											
その他の屋外			4				3				4	11
地 下												
そ の 他												
計		1		17		9	3	1			6	37

(注) 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

救 急 統 計



平成23年救急活動の概要

1 救急出場状況

救急出場件数は、4,755件で、前年よりも551件(13.1%)増加し、搬送人員は4,555人で前年よりも495人(12.2%)増加している。

これは、組合発足以降最も多い件数となり、その要因として当管内への東日本大震災による避難者の搬送それに加え高齢者の搬送が増加したものである。

1日平均出場件数は13.0件で、前年より増加の一途をたどっている。

伊達消防本部管内では、約24.1人に1人の割合で救急車を利用したことになる。

2 月別出場件数

月別の救急出場状況は3月の628件が最も多く、次いで1月の448件となっている。

また、月平均出場件数は396.3件(前年比46件増、13.1%増)で、月平均搬送人員は379.6人(前年比41.3人増、12.2%増)となっている。

3 市町別出場状況

市町別出場件数では、伊達市(旧伊達、保原、梁川、霊山、月舘町)が2,728件(前年比236件増、9.4%増)と最も多く、次いで川俣町の764件(前年比100件増、15.1%増)、桑折町579件(前年比109件増、23.2%増)の順となっている。

4 事故種別出場状況

事故種別では、急病の出場件数が3,226件(前年比428件増、15.3%増)で最も多く、全体の67.8%を占めている。次いで一般負傷641件(前年比101件増、18.7%増)全体の13.4%、転院搬送406件(前年比14件増、3.6%増)全体の8.5%、交通事故321件(前年比3件減、0.9%減)全体の6.8%の順となっている。

5 医療機関別搬送状況

搬送人員の54.4%にあたる2,479人(前年比337人増、15.7%増)が管内の医療機関に搬送され、45.6%にあたる2,076人(前年比158人増、8.2%増)が管外の医療機関に搬送されている。

6 高速道路(東北自動車道)への出場状況

東北自動車道への出場状況は、39件(前年比7件増、21.9%増)、搬送人員は35人(前年同数)となっている。

特に交通事故による出場件数は、21件(前年比4件増、23.5%増)で、全体の53.8%を占めており、急病は12件(前年比2件減、14.3%減)で、全体の30.8%となっている。

市町別・月別救急出場状況

(H23.12.31現在)

市町名	区分	月別												合計 (A)	前年 (B)	増減数 A - B (C)	増減率 % C/B×100	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月					
伊達市	旧伊達町	出場件数	47	41	64	40	26	34	43	45	27	41	45	48	501	465	36	7.74
		搬送人員	43	39	63	37	25	32	43	43	25	38	43	47	478	457	21	4.60
	旧梁川町	出場件数	60	59	89	59	45	53	49	65	43	52	53	70	697	624	73	11.70
		搬送人員	57	56	86	57	43	52	47	60	42	52	52	66	670	600	70	11.67
	旧保原町	出場件数	93	67	109	69	75	71	66	88	63	67	81	78	927	840	87	10.36
		搬送人員	90	69	106	61	70	63	63	87	61	63	78	73	884	793	91	11.48
	旧靈山町	出場件数	45	41	54	31	41	32	28	38	30	33	32	35	440	404	36	8.91
		搬送人員	42	40	53	29	39	31	28	38	29	32	34	35	430	397	33	8.31
	旧月館町	出場件数	17	14	11	17	11	12	11	17	14	13	15	11	163	159	4	0.74
		搬送人員	16	14	10	18	10	12	10	14	14	13	15	11	157	150	7	4.67
	小計	出場件数	262	222	327	216	198	202	197	253	177	206	226	242	2,728	2,492	236	9.47
		搬送人員	248	218	318	202	187	190	191	242	171	198	222	232	2,619	2,397	222	9.26
伊達郡	桑折町	出場件数	50	31	76	41	46	38	63	46	45 (1)	58	33	52	579 (1)	470 (4)	109 3	23.19
		搬送人員	48	29	73	38	45	37	59	42	44 (1)	56	32	50	553 (1)	460 (4)	93 3	20.22
	国見町	出場件数	35 (1)	22 (1)	47 (4)	34 (1)	38 (1)	32 (3)	27 (2)	19 (1)	29 (4)	34 (2)	36 (1)	35 (5)	388 (26)	335 (16)	53 (5)	15.82
		搬送人員	32 (1)	20 (1)	46 (3)	33 (1)	35 (1)	33 (3)	25 (1)	19 (1)	26 (4)	33 (3)	34	33 (3)	369 (22)	327 (14)	42 (3)	12.84
	川俣町	出場件数	80	52	125	43	41	44	59	61	55	62	72	70	764	664	100	15.06
		搬送人員	78	51	124	38	40	40	55	63	52	59	65	60	725	641	84	13.10
福島市	飯野町	出場件数	17	15	30	18	14	17	24	13	17	15	16	22	218	200	18	9.00
		搬送人員	18	15	30	16	14	17	24	16	17	12	16	20	215	187	28	14.97
その他	出場件数	4	9	23	9	4	3 (1)	7 (3)	3	4 (1)	5 (2)	4 (3)	3 (2)	78 (12)	43 (12)	35	81.40	
	搬送人員	3	8	22	9	4	3 (1)	7 (3)	3	3	4 (2)	5 (4)	3 (2)	74 (12)	48 (17)	26 5	54.17	
合計	出場件数	448 (1)	351 (1)	628 (4)	361 (1)	341 (1)	336 (4)	377 (5)	395 (1)	327 (6)	380 (4)	387 (4)	424 (7)	4,755 (39)	4,204 (32)	551 (2)	13.11	
	搬送人員	427 (1)	341 (1)	613 (3)	336 (1)	325 (1)	320 (4)	361 (4)	385 (1)	313 (5)	362 (5)	374 (4)	398 (5)	4,555 (35)	4,060 (35)	495 5	12.19	

()は、東北自動車道への出場状況

市町別・事故種別救急出場状況

(H23.12.31現在)

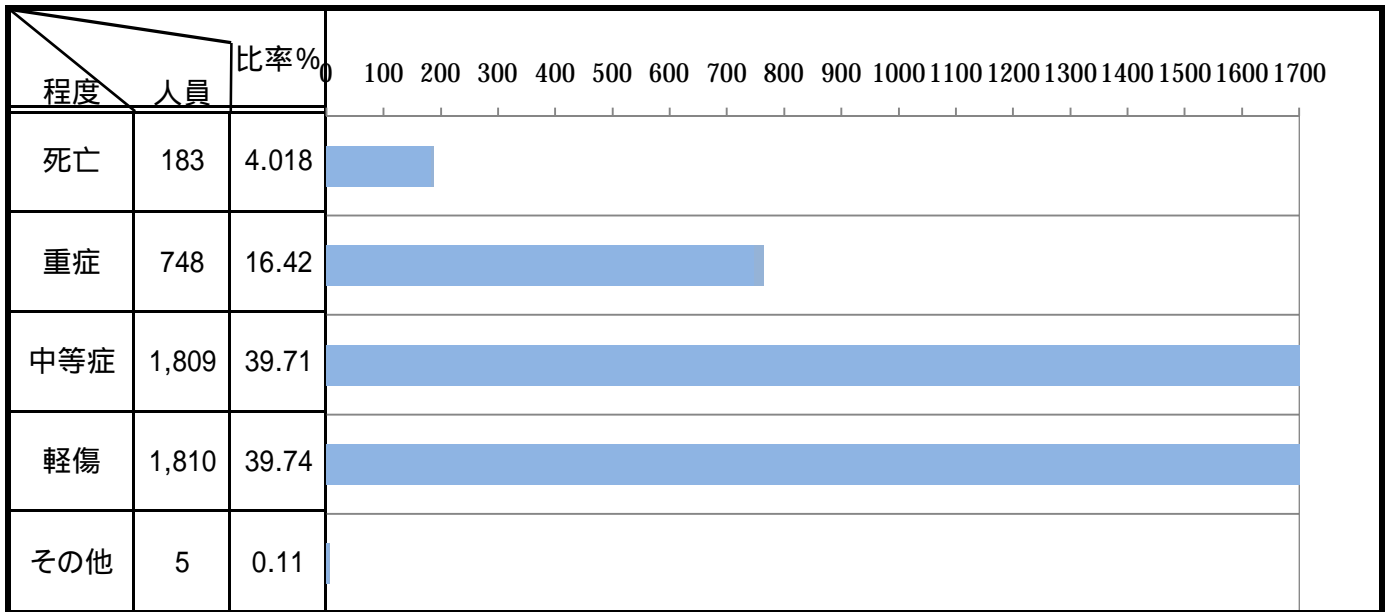
事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計		
												転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他			
市町名	区分																	
伊達市	旧伊達町	出場件数		1		29	4	2	53		5	323	80			4	501	
		搬送人員		1		31	4	2	51		4	305	78			2	478	
	旧梁川町	出場件数		1		49	9	2	99	2	6	499	26			4	697	
		搬送人員		1		51	9	2	95	2	6	474	26			4	670	
	旧保原町	出場件数				74	6	7	126	1	9	603	96			5	927	
		搬送人員				76	6	8	121	1	5	570	96			1	884	
	旧靈山町	出場件数		1		25	4	1	55		6	330	18				440	
		搬送人員		1		29	4	1	55		3	319	18				430	
	旧月館町	出場件数				7	2		25	1	1	125	2				163	
		搬送人員				8	2		24			121	2				157	
	小計	出場件数		3		184	25	12	358	4	27	1880	222			13	2728	
		搬送人員		3		195	25	13	346	3	18	1789	220			7	2619	
	伊達郡	桑折町	出場件数	2	2		33 (1)	5	3	82	2	3	429	15			3	579 (1)
			搬送人員	2	1		32 (1)	5	3	81	2	2	409	15			1	553 (1)
国見町		出場件数		1	1	18 (8)	5	2	56 (6)	1	6	240 (12)	57			1	388 (26)	
		搬送人員		2		21 (8)	5	2	53 (4)	1	5	224 (10)	56				369 (22)	
川俣町		出場件数		5		57	7	3	110	1	6	483	83	1		8	764	
		搬送人員		4		57	7	3	102	1	4	456	87			4	725	
福島市	飯野町	出場件数			17			31		3	145	20			2	218		
		搬送人員			22			30		3	140	20				215		
その他	出場件数				12 (12)			4	1	2	49	9	1			78 (12)		
	搬送人員				12 (12)			4	1	1	46	10				74 (12)		
合計	出場件数	2	11	1	321 (21)	42	20	641 (6)	9	47	3,226 (12)	406	2		27	4,755 (39)		
	搬送人員	2	10		339 (21)	42	21	616 (4)	8	33	3,064 (10)	408			12	4,555 (35)		

()は、東北自動車道への出場状況

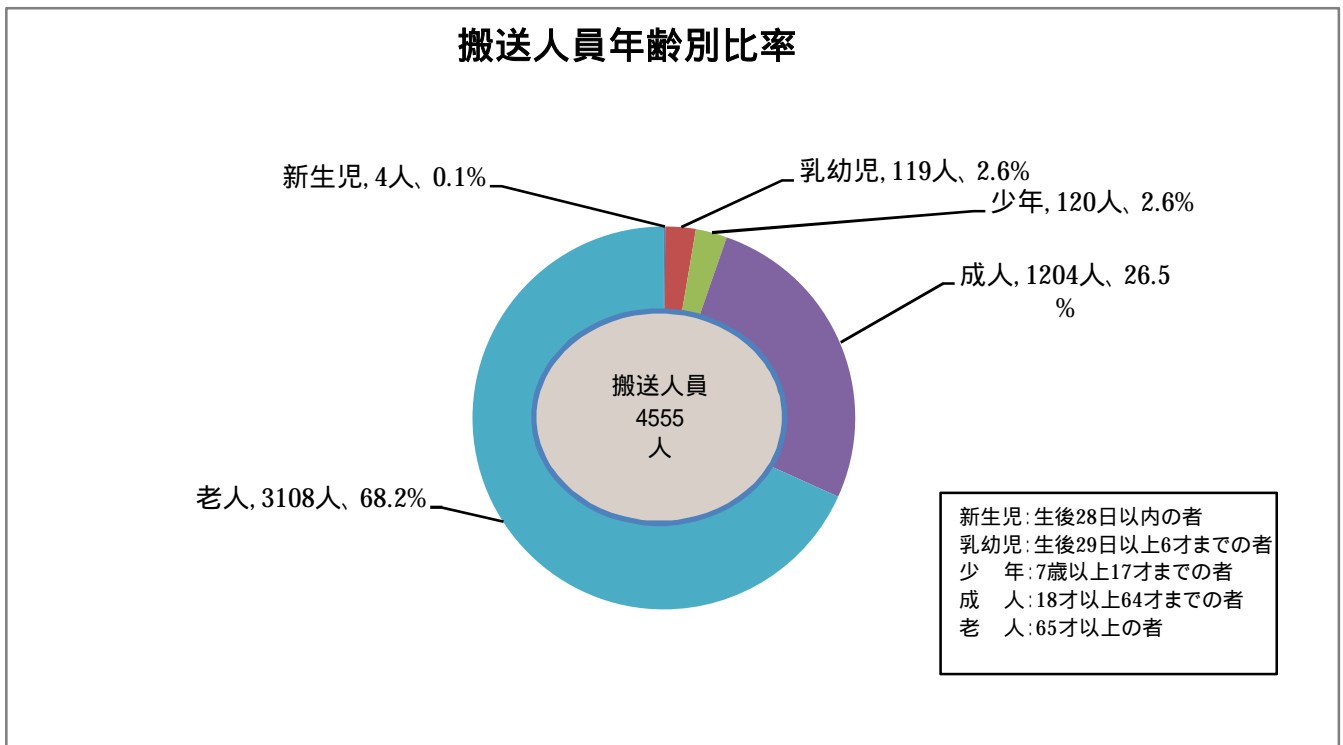
事故種別救急出場状況（前年比較）

区 分		平成23年 (A)	平成22年 (B)	増減数 (C)=(A) - (B)	増減率(100%) (C) / (B) × 100
火災	出場件数	2	9	7	77.8
	搬送人員	2	8	6	75.0
自然災害	出場件数	11			
	搬送人員	10			
水難	出場件数	1	1		
	搬送人員				
交通	出場件数	321	324	3	0.9
	搬送人員	339	348	9	2.6
労働災害	出場件数	42	30	12	40.0
	搬送人員	42	30	12	40.0
運動競技	出場件数	20	45	25	55.6
	搬送人員	21	46	25	54.3
一般負傷	出場件数	641	540	101	18.7
	搬送人員	616	514	102	19.8
加害	出場件数	9	8	1	12.5
	搬送人員	8	7	1	14.3
自損行為	出場件数	47	46	1	2.2
	搬送人員	33	36	3	8.3
急病	出場件数	3,226	2,798	428	15.3
	搬送人員	3,064	2,679	385	14.4
その他	出場件数	435	403	32	7.9
	搬送人員	420	392	28	7.1
合 計	出場件数	4,755	4,204	551	13.1
	搬送人員	4,555	4,060	495	12.2

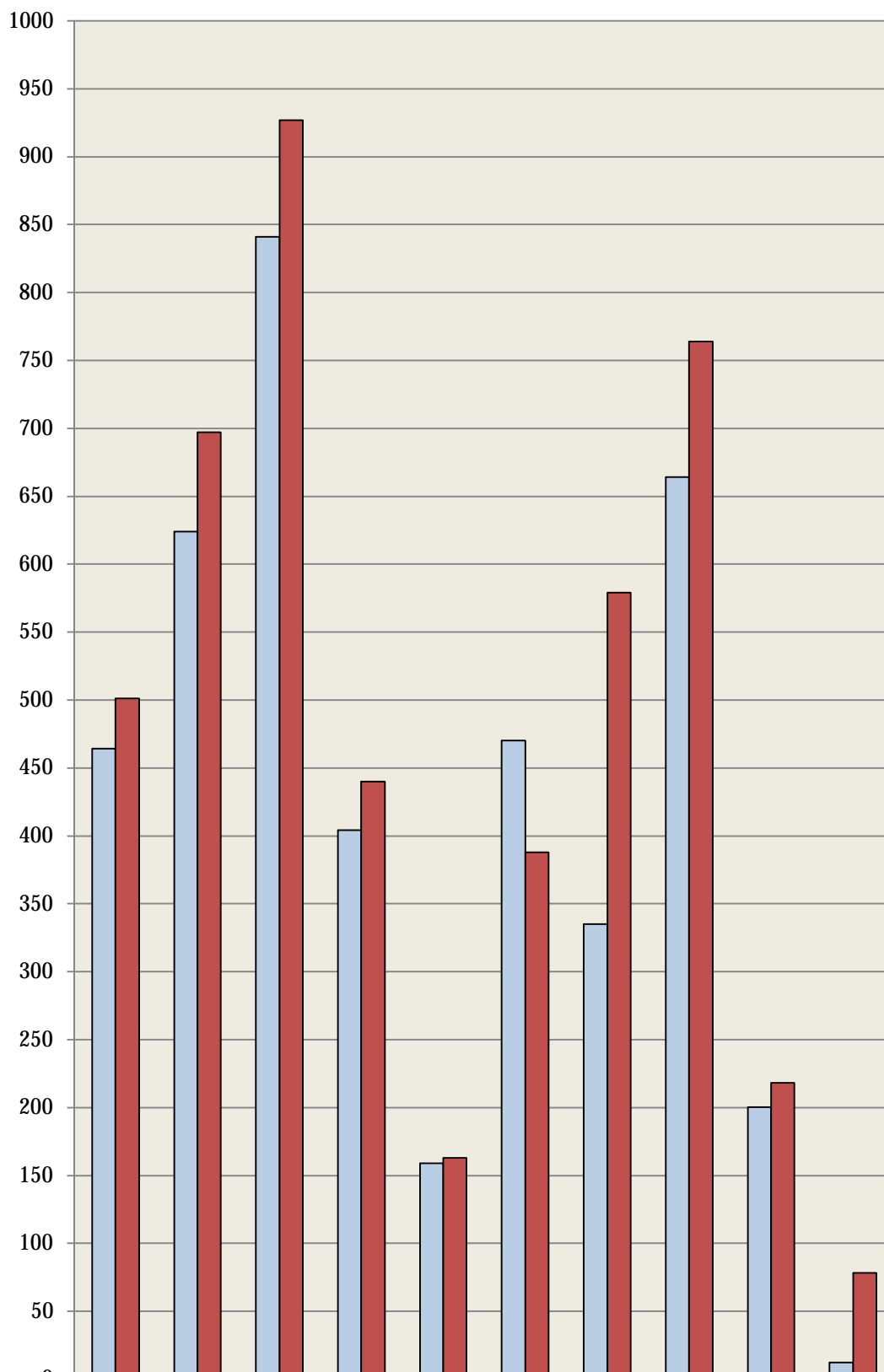
搬送人員傷病程度別分類状況



搬送人員年齢別比率



市町別救急出場状況(前年比較)

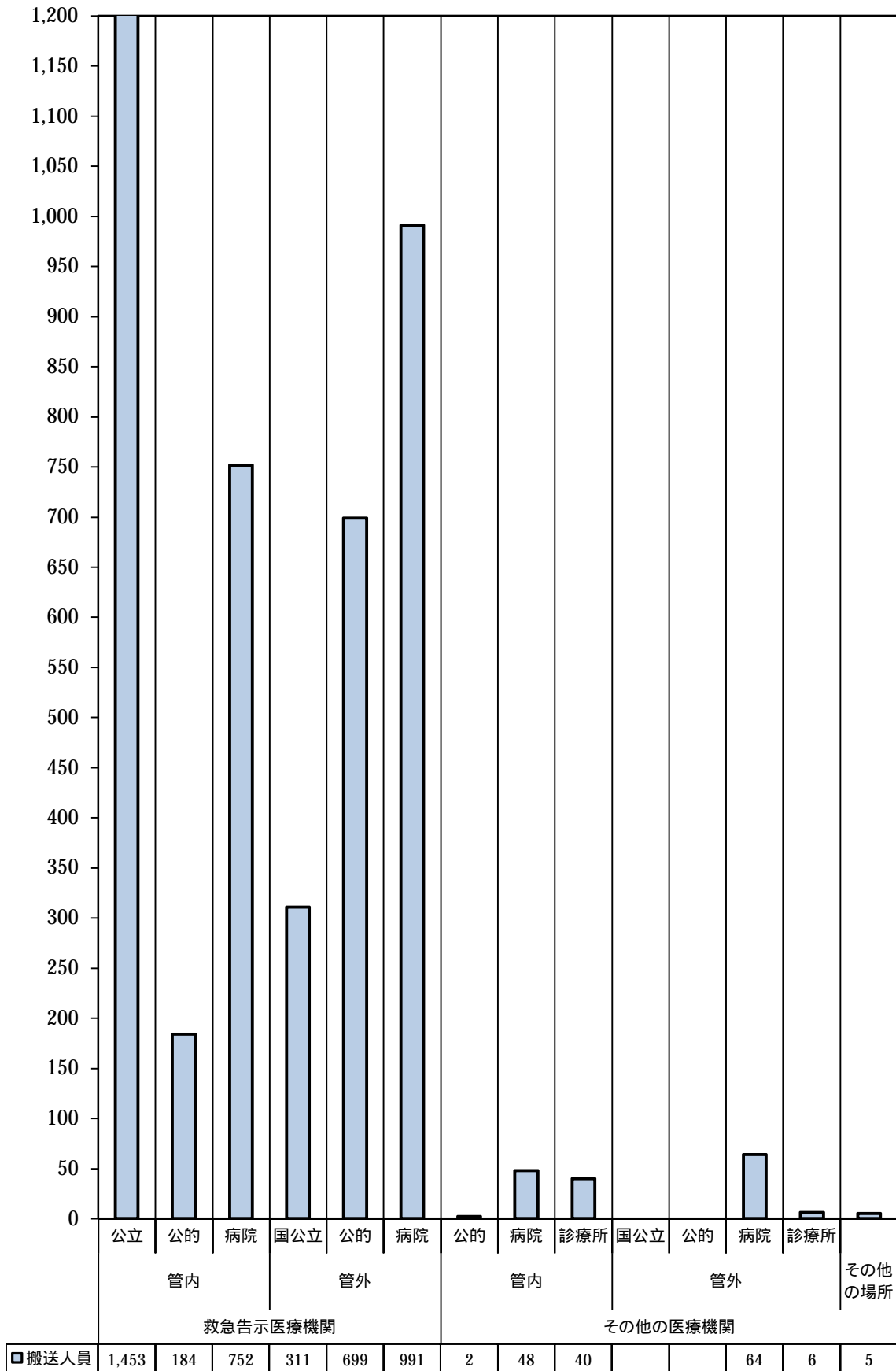


平成22年	464	624	841	404	159	470	335	664	200	12
平成23年	501	697	927	440	163	388	579	764	218	78

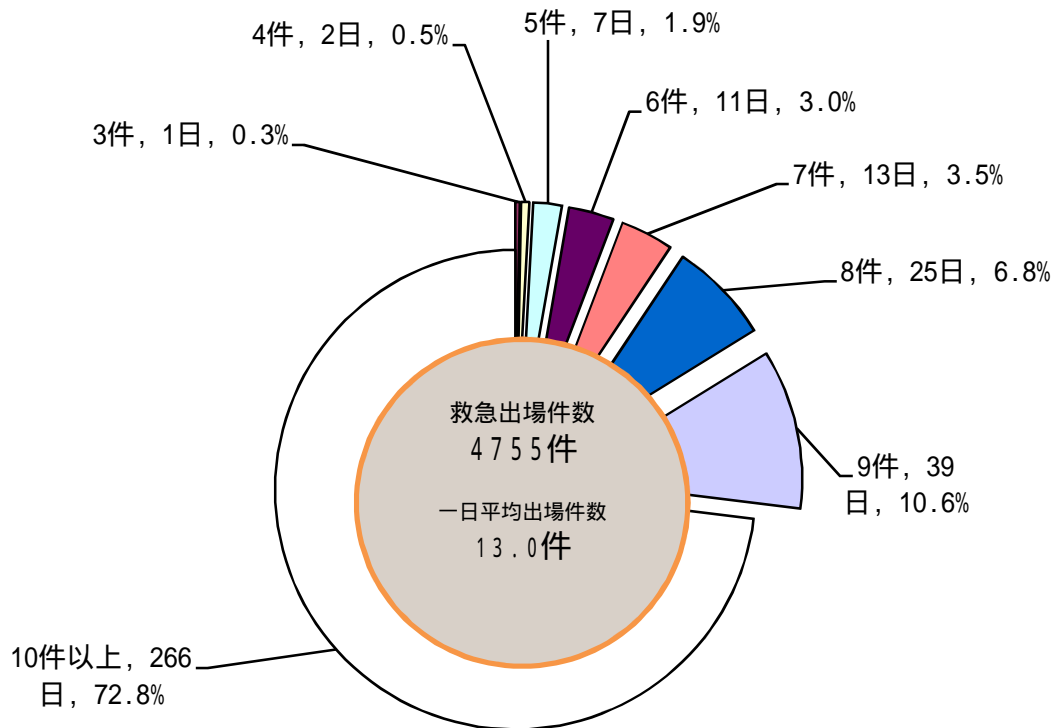
急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調

区分		循環器系		消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿器系	新生物	その他	診断名不明確	計
		脳疾患	心疾患									
新生児	死亡											
	重症											
	中等症									1		1
	軽症										1	1
	その他											
	計										1	1
乳幼児	死亡											
	重症											
	中等症			1	6		2				14	23
	軽症			6	9		2			4	27	48
	その他											
	計			7	15		4			4	41	71
少年	死亡											
	重症		1				1					2
	中等症			1			2	5			3	11
	軽症		1	4	3	3	3			5	11	30
	その他											
	計		2	5	3	6	8			5	14	43
成人	死亡	2	7						2	11	1	23
	重症	29	13	4	3	2			3	5	4	63
	中等症	20	17	47	22	12	19	9	3	49	42	240
	軽症	9	34	44	31	50	23	35		75	94	395
	その他											
	計	60	71	95	56	64	42	44	8	140	141	721
老人	死亡	2	54	4	13		2	2	5	42	7	131
	重症	121	58	32	78	1	6	10	13	38	21	378
	中等症	123	90	124	229	8	34	44	23	176	169	1,020
	軽症	52	83	63	66	32	30	20	3	128	221	698
	その他											
	計	298	285	223	386	41	72	76	44	384	418	2,227
合計	死亡	4	61	4	13		2	2	7	53	8	154
	重症	150	72	36	81	4	6	10	16	43	25	443
	中等症	143	107	173	257	22	60	53	26	226	228	1,295
	軽症	61	118	117	109	85	58	55	3	212	354	1,172
	その他											
	計	358	358	330	460	111	126	120	52	534	615	3,064

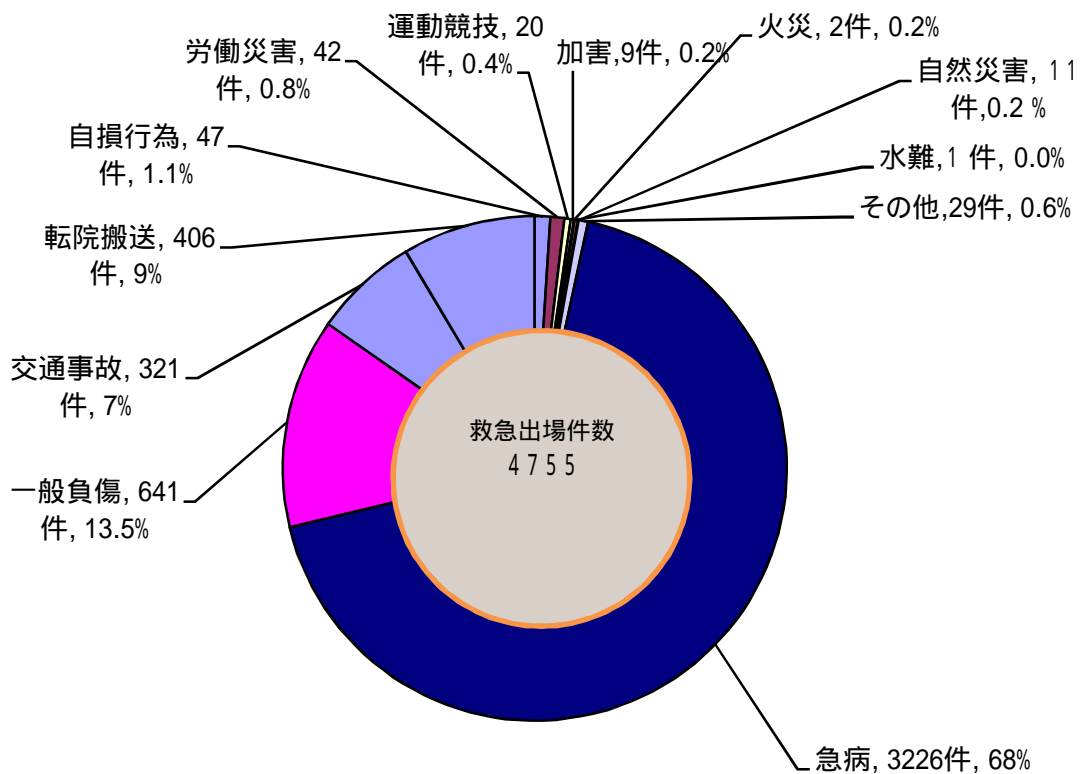
医療機関別搬送状況



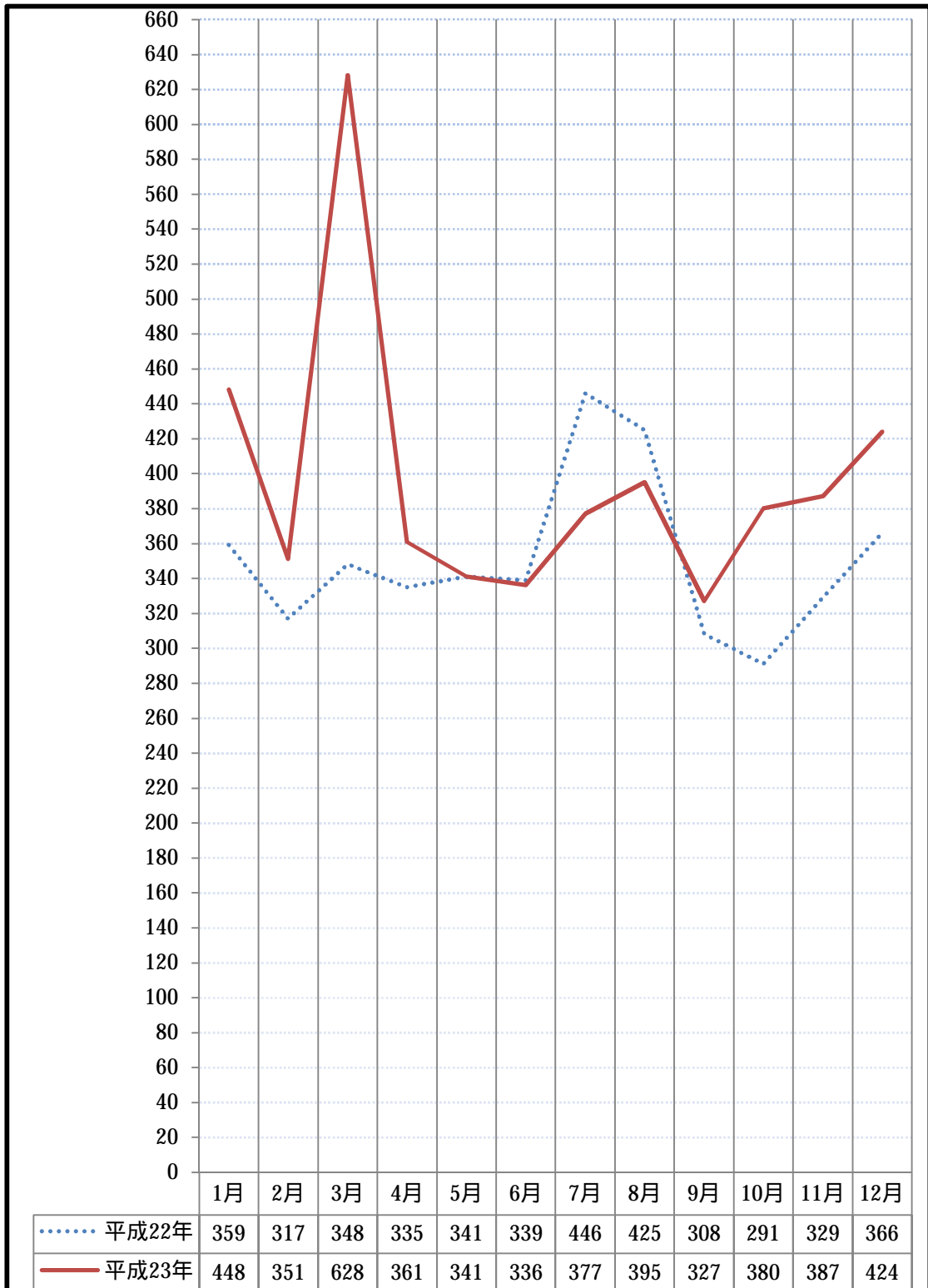
一日の救急出場件数比率



事故種別救急出場件数比率



月別出場件数(前年比較)



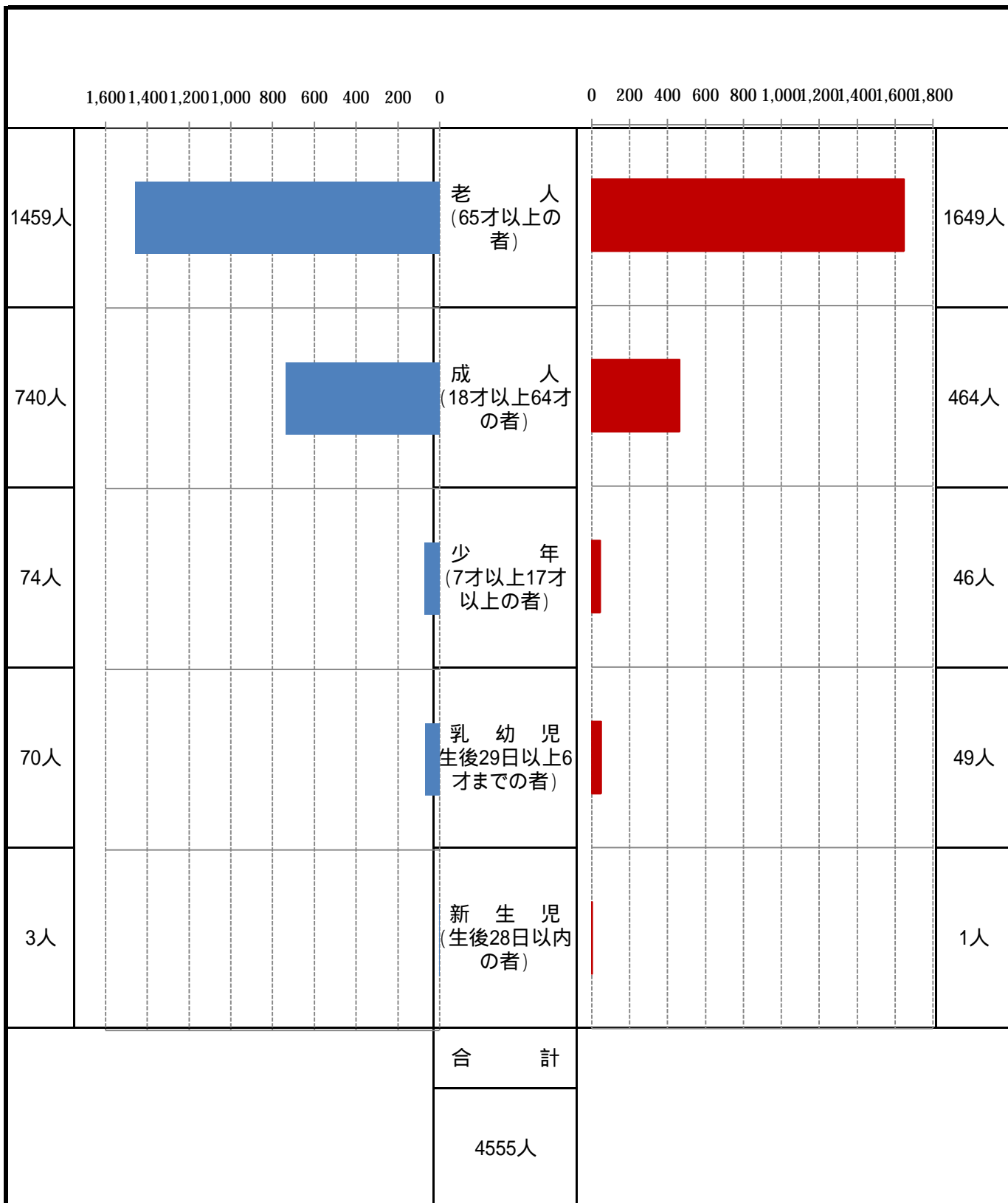
事故種別・時間別救急出場状況

区 分	火災	自然 災害	水難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他				合計	
											転院 搬送	医師 搬送	資器材 等輸送	その他		
合 計	2	11	1	321	42	20	641	9	47	3,226	406	2		27	4,755	
時 間 別 内 訳	0～2			10			23	1	5	130	3			1	173	
	2～4			5			13		2	121	3			2	146	
	4～6			7			10	1	1	133	2			1	155	
	6～8			1	34	1	55		4	294	5	1		1	396	
	8～10		1		37	6	2	96		4	388	46			1	581
	10～12		2		40	17	10	65		5	316	112			2	569
	12～14	1			43	7		93	1	3	349	67			3	567
	14～16	1	4		46	7		71	1	5	280	58			6	479
	16～18		2		42	3	3	75	1	4	317	77				524
	18～20		1		32		4	57	2	7	394	26	1		5	529
	20～22				14	1	1	45	1	4	290	6			3	365
	22～24		1		11			38	1	3	214	1			2	271

性別・年齢別搬送人員状況

(男 2346人)

(女 2209人)



過去5年間の事故種別救急出場状況

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成19年	出場件数	4,021	3	2	1	333	28	16	486	12	28	2,700	412
	搬送人員	3,867	3	2		354	26	16	473	10	16	2,568	399
平成20年	出場件数	3,814	4			326	22	27	495	10	49	2,489	392
	搬送人員	3,632	2			323	22	28	474	9	34	2,365	375
平成21年	出場件数	3,894	4			300	27	12	511	9	45	2,607	379
	搬送人員	3,710	3			326	27	14	494	5	24	2,462	355
平成22年	出場件数	4,204	9		1	324	30	45	540	8	46	2,798	403
	搬送人員	4,060	8			348	30	46	514	7	36	2,679	392
平成23年	出場件数	4,755	2	11	1	321	42	20	641	9	47	3,226	435
	搬送人員	4,555	2	10		339	42	21	616	8	33	3,064	420

(過去5年間の平均出場状況)

平均	出場件数	4137.6	4.4	2.6	0.6	320.8	29.8	24.0	534.6	9.6	43.0	2764.0	404.2
	搬送人員	3964.8	3.6	2.4	0.0	338.0	29.4	25.0	514.2	7.8	28.6	2627.6	388.2

現場到着所要時間別出場件数調

区 分	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
急 病	148	481	1,739	800	58	3,226
交 通 事 故	7	41	161	90	22	321
一 般 負 傷	29	80	334	175	23	641
そ の 他	42	125	296	83	21	567
計	226 (4.8%)	727 (15.3%)	2,530 (53.2%)	1,148 (24.1%)	124 (2.6%)	4,755 (100%)

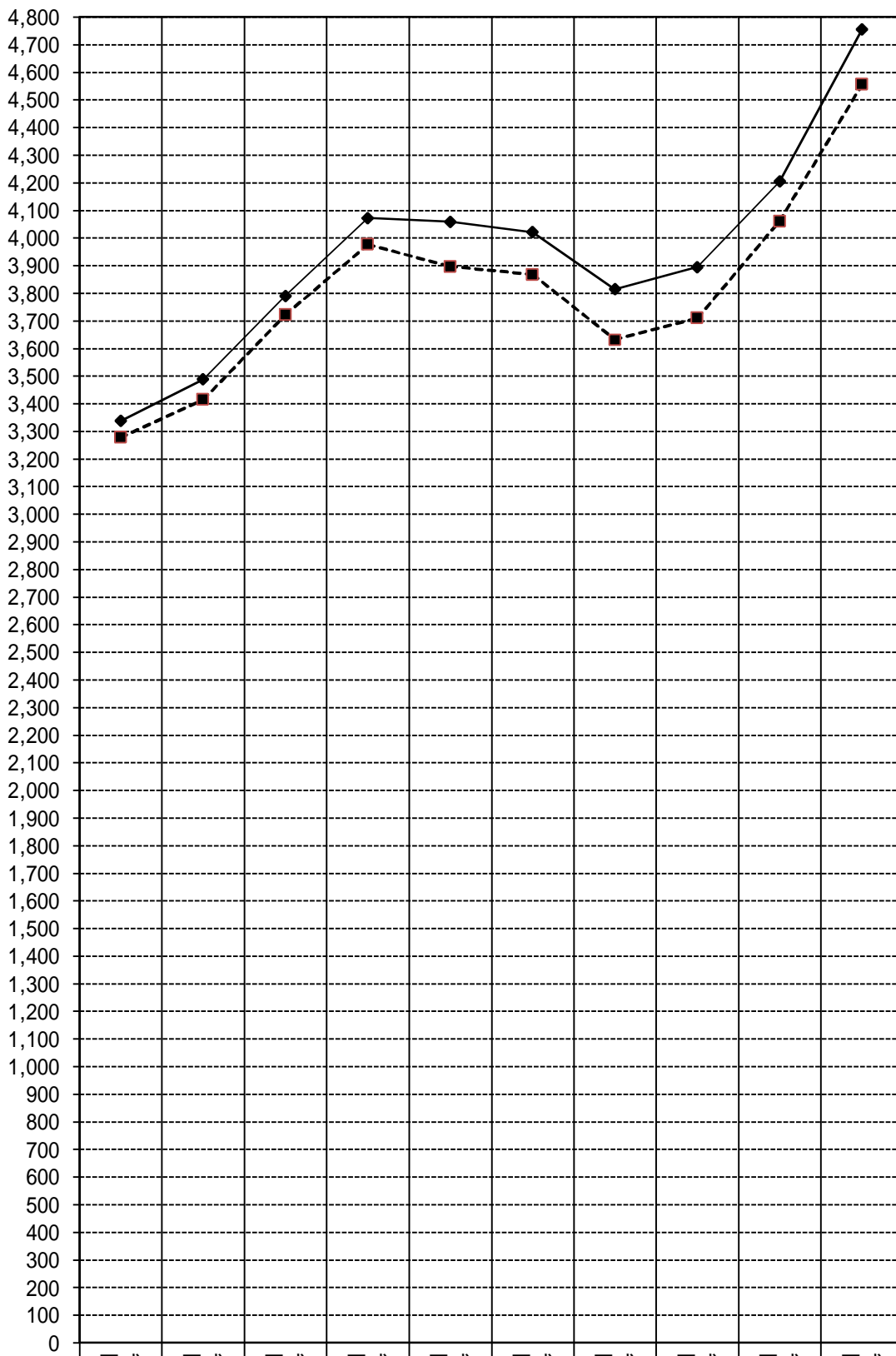
(注) 本表は、覚知から現場到着までに要した時間区分ごとの件数を記載したものである。

収容時間別搬送人員数調

区 分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計
急 病		113	741	1,977	226	7	3,064
交 通 事 故		7	66	209	57		339
一 般 負 傷		13	121	413	68	1	616
そ の 他		25	155	316	31	9	536
計		158 (3.5%)	1,083 (23.8%)	2,915 (63.9%)	382 (8.4%)	17 (0.4%)	4,555 (100%)

(注) 本表は、覚知から傷病者を医療機関等に収容したまでに要した時間区分ごとの搬送人員を記載したものである。

過去10年の救急出場件数



出場件数	3,337	3,488	3,790	4,072	4,058	4,021	3,814	3,894	4,204	4,755
搬送人員	3,277	3,414	3,721	3,976	3,896	3,867	3,632	3,710	4,060	4,555

市町別の救急出場率及び搬送割合の推移

区分 市町別	平成19年		平成20年		平成21年		平成22年		平成23年	
	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)
伊達市	326.9	30.5	313.2	31.9	330.9	31.6	354.1	28.2	422.6	24.6
桑折町	311.4	32.8	278.5	35.9	312.8	32.9	346.1	28.9	454.1	23.1
国見町	347.2	29.9	292.9	34.1	324.9	32.3	320	31.2	387.1	27.2
川俣町	390	26.9	337.9	29.6	368.6	28.7	396.3	25.2	495.2	21.3
福島市 飯野町	297.3	36.2	291.1	34.4	347.3	31.4	306.4	32.6	364.5	27.4
管内	349.7	30.3	313.6	31.8	338.7	31	357.8	27.9	458.3	24.1

(A) 救急出場率:人口1万人あたりの救急出場件数

(B) 住民搬送割合:何人に1人の人が、救急車により搬送されているかの割合

平成23年中、伊達消防本部管内においては、約24.1人に1人の割合で救急車で搬送されていることを表す。

署・分署別救急出場状況（前年比較）

区分		平成23年 (A)	平成22年 (A)	増減数 (C)=(A) - (B)	増減率(100%) (C) / (B) × 100
中央消防署	出場件数	1,105	1,015	90	8.9
	搬送人員	1,052	976	76	7.8
東分署	出場件数	642	595	47	7.9
	搬送人員	619	582	37	6.4
西分署	出場件数	1,338	1,099	239	21.7
	搬送人員	1,272	1,075	197	18.3
南分署	出場件数	961	851	110	12.9
	搬送人員	927	813	114	14.0
北分署	出場件数	709	644	65	10.1
	搬送人員	685	614	71	11.6
合 計	出場件数	4,755	4,204	551	13.1
	搬送人員	4,555	4,060	495	12.2

救急隊が人工呼吸・心臓マッサージを実施した傷病者調

区分		事 故 種 別				
(対象者)		急病	交通事故	一般負傷	その他	計
		163	2	19	9	193
内訳	脳疾患	7		1		8
	心疾患	62				62
	呼吸系	9				9
	その他	85	2	18	9	114
搬送時の 医師の診 断の結果	死亡	149	2	18	8	177
	重症	13		1	1	15
	中等症	1				1
	軽症					